

Akita J Med 50 (Suppl) : 209~213, 2023

中央診療施設等

中 央 検 査 部

部 長	植 木 重 治 (総合診療・検査診断学講座教授)
副 部 長	守 時 由 起 (4月～) (総合診療・検査診断学講座准教授)
助 教	小 林 敬 宏 (～3月)
	藤 岡 優 樹 (4月～)
技 師 長	富 谷 陽 子
副 技 師 長	高 橋 智 映
主 任 技 官	戸 島 洋 子・菊 地 優 子
	達 子 瑠 美・山 本 梨 絵
	高 崎 貴 海・山 内 由 美 子
	永 沼 綾 子・小 熊 マ リ 子
技 官	高 橋 緑・齊 藤 由 紀 子
	田 村 麗 奈・安 保 康 太 郎
	田 村 明 日 美・鎌 田 尚 未
	長 谷 山 佳 奈・岩 谷 麻 由 奈 子
	安 保 綾 奈・藤 井 史 奈 子
	工 藤 優 基・荒 井 杏 子
	平 澤 裕 之
医療系スタッフ	田 中 美 紀 子・齋 藤 幸 子
	佐 藤 沙 央 理・石 山 史 奈
	水 戸 部 陽 子
	佐 々 木 海 (～3月)
	今 野 裕 子 (再雇用)
	菊 地 敏 子 (再雇用)
事務スタッフ	鎌 田 由 紀 子
	藤 井 奈 緒 子 (4月～)
	佐 藤 文 子
	宇 佐 美 順 子 (～3月)

著 書

- 1) Ueki, S., Fukutomi, Y., Miyabe, Y., Yamada, T., Oguma, T. and Asano, K. (2022) Allergic fun-

gal diseases in the upper and lower airways.
In : Jackson, D.J., Wechsler, M.E. (eds.) *ERS Monograph*. European Respiratory Society, Sheffield, pp. 119-140.

- 2) 植木重治 (2022) Charcot-Leyden 結晶. 蛇澤晶, 熊坂利夫 (編) 非腫瘍性疾患病理アトラス「肺」. 文光堂, 東京, pp. 334-335.
- 3) 長谷川諒, 森 信好 (2022) 免疫不全患者の感染症対策. 神田善伸 (編) ここが知りたい! 血液疾患診療ハンドブック (初版). 中外医学社, 東京, pp. 114-121.

総説・解説

- 1) 有馬実咲, 福地峰世, 植木重治 (2022) ETosis と好酸球性炎症. COPD と気管支喘息, その周辺疾患. 日本臨床 **80**(6), pp. 564-569.
- 2) 伊東慶介, 植木重治 (2022) 好酸球細胞死と耳鼻科疾患. 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会誌 **2**(4), pp. 161-164.
- 3) 富澤宏基, 植木重治 (2022) アレルギー性炎症における好酸球の役割. 医学のあゆみ **281**(1), pp. 26-30.
- 4) 富澤宏基, 齊藤雅也, 植木重治 (2022) 好酸球による組織障害機序. リウマチ科 **67**(2), pp. 229-235.
- 5) 引地 悠, 植木重治 (2022) アレルギー疾患の基本と最近の知見. *Med. Technol.*, **50**(11), pp. 1168-1172.
- 6) 福地峰世, 植木重治 (2022) 新たな好酸球細胞死を反映するバイオマーカーの可能性. 秋田医学 **49**(1), pp. 45-51.
- 7) 藤枝重治, 小山佳佑, 足立直人, 吉田加奈子, 木戸口正典, 加藤幸宣, 二之宮貴弘, 意元義政, 坂下雅文, 植木重治, 高林哲司 (2022) 好酸球性副鼻腔炎の病態と病理. 耳鼻咽喉科 **1**(5), pp. 566.
- 8) 松本奈津美, 植木重治 (2022) 「顆粒球」とアレルギー. 治療 **104**(10), pp. 1225-1227.
- 9) 山本梨絵 (2022) 試薬ブローブの経年劣化によるマグネシウム管理血清測定値の変動. 医療と検査機器・試薬 **45**(6), pp. 350-352.
- 10) 渡部 健, 植木重治 (2022) 細胞外トラップ (NETs・EETs) 研究の潮流. アレルギー **71**(3), pp. 200-205.

原著論文

A. 審査を経た論文

- 1) Hagiwara, S., Ueki, S., Watanabe, K., Hizuka, K. and Etani, Y. (2022) Case of hypereosinophilic syndrome with gastrointestinal involvement showing tissue eosinophil cytolysis. *Asia Pac. Allergy*, **12**(4), e37.
- 2) Hashimoto, T., Ueki, S., Kamide, Y., Miyabe, Y., Fukuchi, M., Yokoyama, Y., Furukawa, T., Azuma, N., Oka, N., Takeuchi, H., Kanno, K., Ishida-Yamamoto, A., Taniguchi, M., Hashiramoto, A. and Matsui, K. (2022) Increased circulating cell-free DNA in eosinophilic granulomatosis with polyangiitis: Implications for eosinophil extracellular traps and immunothrombosis. *Front. Immunol.*, **12**, 801897.
- 3) Hikichi, H., Hasegawa, R., Saga, A., Saga, T. and Ueki, S. (2022) Diagnostic challenges in pulmonary embolism in young adults: Thrombosis associated with cytomegalovirus and mycoplasma pneumoniae. *Cureus*, **14**(12), e32757.
- 4) Imoto, Y., Ueki, S., Kato, Y., Yoshida, K., Morikawa, T., Kimura, Y., Kidoguchi, M., Tsutsumiuchi, T., Koyama, K., Adachi, N., Ito, Y., Ogi, K., Sakashita, M., Yamada, T., Schleimer, R. P., Takabayashi, T. and Fujieda, S. (2022) Elevated serum leptin levels in patients with eosinophilic chronic rhinosinusitis. *Front. Pharmacol.*, **12**, 793607.
- 5) Miyabe, Y., Tomizawa, H., Saito, H., Yamada, T., Shiina, K., Koizumi, K., Kawasaki, Y., Suzuki, S., Fukuchi, M., Ueki, S., Ebihara, T. and Yamada, T. (2022) Quantification of *Aspergillus fumigatus* antigen Asp f 1 in airway tissue and allergic inflammation. *Allergy*, **77**(10), 3154-3156.
- 6) Neves, V.H., Palazzi, C., Bonjour, K., Ueki, S., Weller, P.F. and Melo, R.C.N. (2022) In vivo ETosis of human eosinophils: The ultrastructural signature captured by TEM in eosinophilic diseases. *Front. Immunol.*, **13**, 938691.
- 7) Nishiyama, Y., Koya, T., Nagano, K., Abe, S., Kimura, Y., Shima, K., Toyama-Kosaka, M., Hasegawa, T., Sasaki, T., Shinbori, K., Ueki, S., Takamura, K. and Kikuchi, T. (2022) Two cas-

- es of dupilumab-associated eosinophilic pneumonia in asthma with eosinophilic chronic rhinosinusitis: IL-5-driven pathology? *Allergol. Int.*, **71**(4), 548-551.
- 8) Nowicki, M., Berg, B.W., Okada, Y., Yagi, M.S., Tomisawa, T., Kawahara, C., Ouchi, G., Moritoki, Y. and Otori, T. (2022) A patient safety champion program for interprofessional health care educators: Implementation and outcomes. *J. Contin. Educ. Health. Prof.*, **42**(3), 211-218.
 - 9) Sasaki, H., Miyata, J., Irie, A., Kuwata, A., Kouzaki, Y., Ueki, S. and Kawana, A. (2022) Case report: Eosinophilic bronchiolitis with eosinophil ETosis in mucus plugs successfully treated with benralizumab. *Front. Pharmacol.*, **12**, 826790.
 - 10) Tomizawa, H., Yamada, Y., Arima, M., Miyabe, Y., Fukuchi, M., Hikichi, H., Melo, R.C.N., Yamada, T. and Ueki, S. (2022) Galectin-10 as a Potential Biomarker for Eosinophilic Diseases. *Biomolecules*, **12**(10), 1385.
- 3) 有馬実咲, 福地峰世, 西山将平, 伊東慶介, 富澤宏基, 引地 悠, 守時由起, 植木重治 (2022) 免疫組織化学染色における好酸球の細胞崩壊の定量的指標の検討. 第71回日本アレルギー学会学術大会, 10月, 東京
 - 4) 伊東慶介, 福地峰世, 有馬実咲, 山本梨絵, 富谷陽子, 守時由起, 嵯峨知生, 植木重治 (2022) 好酸球 ETosis を起点とした免疫学的血栓形成. 第69回日本臨床検査医学会学術集会, 11月, 栃木
 - 5) 植木重治 (2022) 好酸球ムチンと上下気道疾患(教育講演). 第8回総合アレルギー講習会, 3月, 横浜
 - 6) 植木重治 (2022) EGPA の病態における好酸球の寄与. 第62回日本呼吸器学会学術講演会, 4月, 京都
 - 7) 植木重治 (2022) Eosinophil cell death induces tissue damage in EGPA (シンポジウム). 第63回日本神経学会学術大会, 5月, 東京
 - 8) 植木重治 (2022) NON-type2 に潜む好酸球性炎症(シンポジウム). 第71回日本アレルギー学会学術大会, 10月, 東京
 - 9) 植木重治 (2022) 好酸球の特性からみた病態の理解 (シンポジウム). 第71回日本アレルギー学会学術大会, 10月, 東京
 - 10) 上出庸介, 福地峰世, 河崎裕一郎, 藤田教寛, 岩本圭右, 矢野光一, 岩田真紀, 永山貴紗子, 中村祐人, 濱田祐斗, 劉 楷, 渡井健太郎, 林 浩昭, 森 晶夫, 谷口正実, 福富友馬, 植木重治, 関谷潔史 (2022) 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の活動性と血清中 galectin-10 は相関する. 第62回日本呼吸器学会学術講演会, 4月, 京都
 - 11) 菊地優子, 永沼綾子, 齊藤由紀子, 荒井杏子, 石山史奈, 小林則子, 植木重治 (2022) 血液形態診断のためのケースカンファレンス 白血球増多 (50歳代男性). 第69回日本臨床検査医学会学術集会, 11月, 栃木
 - 12) 小屋俊之, 外山美央, 島賢治郎, 長谷川隆志, 植木重治 (2022) Dupilumab 使用後に好酸球性肺炎を来した2例. 第71回日本アレルギー学会学術大会, 10月, 東京
 - 13) 佐藤 悠, 九嶋祥友, 吉田亘輝, 矢澤那奈, 安藤雄基, 清水悠佳, 内田信彦, 丁 倫奈, 正和明哲, 中村祐介, 奥富泰明, 曾田紗世,

学 会 発 表

A. 国際会議

- 1) Ueki, S. (2022) Eosinophil ETosis, a cytolytic degranulation and diseases (Symposium). European Academy of Asthma and Clinical Immunology Hybrid Congress 2022, Jul., Prague, Czechia
- 2) Ueki, S. (2022) Eosinophil cell death in allergic inflammation (Symposium). Chinese College of Allergy and Asthma annual meeting 2022, Dec., Online

B. 国内会議

(a) 総会・年会

- 1) 有馬実咲, 植木重治, 山本梨絵, 富谷陽子, 守時由起, 嵯峨知生 (2022) 補体成分によるヒト好酸球のETosisの誘導. 第69回日本臨床検査医学会学術集会, 11月, 栃木
- 2) 有馬実咲, 上出庸介, 福地峰世, 山本梨絵, 高橋 緑, 植木重治 (2022) 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症患者の血清における好酸球細胞質蛋白 galectin-10 の測定. 第62回日本臨床化学会, 9月, 富山

(212)

中央診療施設等 中央検査部

- 池田直哉, 新井 良, 知花和行, 武政聡浩, 清水泰生, 春名眞一, 植木重治, 仁保誠治 (2022) デュピルマブ投与の有無による慢性好酸球性肺炎 (CEP) が再燃した組織の比較. 第 62 回日本呼吸器学会学術講演会, 4 月, 京都
- 14) 田村明日美 (2022) 品質保証施設認証制度への申請あれこれ. 第 70 回心臓病学会学術集会, 9 月, 京都
- 15) 富澤宏基, 有馬実咲, 宮部 結, 今野泰典, 守時由起, 山田武千代, 植木重治 (2022) 好酸球 ETosis がヒト鼻腔上皮細胞に与える影響. 第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 10 月, 東京
- 16) 富澤宏基, 有馬実咲, 宮部 結, 嵯峨亜希子, 山田武千代, 植木重治 (2022) 好酸球 ETosis を誘導する刺激の検討. 第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 10 月, 東京
- 17) 萩原真一郎, 植木重治, 渡部 健, 肥塚慶之助, 恵谷ゆり (2022) 好酸球細胞崩壊を示した消化管病変を有する特発性好酸球増多症候群の男児例. 第 49 回日本小児栄養消化器肝臓学会, 9 月, 東京
- 18) 長谷山佳菜 (2022) 典型的な経過を認めたファブリー病の一例. 第 70 回心臓病学会学術集会, 9 月, 京都
- (b) 地方会
- 1) 植木重治 (2022) 好酸球の一生と疾患 (教育講演). 第 3 回日本アレルギー学会東北地方会, 1 月, 宮城
- 2) 植木重治 (2022) 顆粒球の細胞死と病態・検査 (教育講演). 日本臨床検査医学会 第 63 回近畿支部総会・第 65 回近畿支部例会, 3 月, 大阪
- 3) 高橋琴乃, 粕谷孝光, 福岡岳美, 小野 剛, 北村俊晴, 渡部 健, 松本奈津美, 植木重治 (2022) ADA 測定が診断に寄与した結核性腹膜炎の一例. 第 12 回日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部, 10 月, 山形
- 4) 藤岡優樹, 高橋直人, 守時由起, 植木重治 (2022) 免疫応答に着目した CML における TKI 中止後の寛解維持機構の解明とバイオマーカー探索. 第 54 回日本臨床検査医学会東北支部総会 第 33 回日本臨床化学会東北支部総会 合同支部総会, 8 月, 宮城
- 5) 守時由起, 福田浩和, 加藤愛華, 岡崎三枝子, 田中郁信, 小林五十鈴, 長谷川仁志, 高橋直人, 植木重治 (2022) クリニカルクラークシップ 1 における基本的気道管理トレーニング. 第 20 回東北シミュレーション医学医療教育研究会大会, 11 月, 宮城
- 6) 渡部 健, 北村俊晴, 松本奈津美, 高橋琴乃, 引地 悠, 佐々木智子, 平澤暢史, 入江康仁, 嵯峨亜希子, 植木重治 (2022) Advance care planning における介護支援専門員と医師の協働—セミナー講師として介護支援専門員と関わった経験から. 第 12 回日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部, 10 月, 山形
- 7) 渡部 健, 嵯峨亜希子, 引地 悠, 嵯峨知生, 植木重治 (2022) 大学病院における「職員・学生コロナ検査外来」開設から運用までの取り組み. 第 14 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 5 月, 愛知
- 8) 渡部 健, 山内久美子, 引地 悠, 嵯峨亜希子, 藤岡優樹, 嵯峨知生, 守時由起, 植木重治 (2022) 好酸球の分葉の意義に関する基礎的検討. 第 54 回日本臨床検査医学会東北支部総会 第 33 回日本臨床化学会東北支部総会 合同支部総会, 8 月, 宮城
- 9) 山内由美子 (2022) 品質保証施設認証制度への申請あれこれ. 令和 4 年度 秋田県臨床検査技師 生理機能部門研修会, 11 月, 秋田
- (c) 研究会
- (i) 全国規模
- 1) 伊東慶介, 宮部 結, 有馬実咲, 富澤宏基, 嵯峨亜希子, 守時由起, 矢野道広, 高橋 勉, 植木重治 (2022) 慢性肉芽腫症由来の好中球・好酸球の ETosis の差異. アレルギー好酸球研究会 2022, 11 月, Online
- 2) 植木重治 (2022) 好酸球を理解して重症喘息・好酸球性炎症をみなおす. 第 29 回バイオフィロロジー研究会, 2 月, Online
- 3) 植木重治 (2022) 難治性喘息と好酸球性炎症疾患, つまるところ好酸球? Eosinophil Research Conference, 3 月, Online
- 4) 植木重治 (2022) 個と集団からみた好酸球のエフェクター機能. AIR WAY WEB, 7 月, Online
- 5) 植木重治 (2022) 好酸球の細胞外トラップ・崩壊型脱顆粒をとらえる. 第 26 回那須ティ-

チイン, 7月, 東京

- 6) 佐々木寿, 宮田 純, 松山笑子, 砂田啓英也, 奥隅真一, 持丸貴生, 正木克宜, 加畑宏樹, 川名明彦, 植木重治, 浅野浩一郎, 福永興彦 (2022) アスペルギルス抽出物によるヒト好酸球の活性化機序に関する検討. アレルギー好酸球研究会 2022, 11月, Online
 - 7) 佐藤貴彦, 千葉貴人, 中原剛士, 植木重治, 渡部 健, 河野通浩 (2022) 水泡性類天疱瘡における好酸球由来ガレクテン-10のMMP産生への関与. アレルギー好酸球研究会 2022, 11月, Online
- (ii) 地方規模
- 1) 有馬実咲, 丸山彩乃, 峠岡理沙, 福地峰世, 今野泰典, 植木重治 (2022) 蕁麻疹を伴った繊維素性唾液管炎の一例. 第56回東北アレルギー懇話会, 6月, Online
 - 2) 植木重治 (2022) 総合診療と喘息・スポーツ. 第29回秋田県スポーツ医学研究会, 2月, Online
 - 3) 植木重治 (2022) 地域に潜む好酸球性疾患. パートナリングの会 in 男鹿湯上南秋, 3月, 秋田
 - 4) 植木重治 (2022) 地域に潜む好酸球性疾患. 喘息診療医療連携 (パートナリングの会) in 由利本荘, 3月, 秋田

- 5) 植木重治 (2022) 秋田の「総合診療」の境界と今後. 第51回市立病院地域医療連携の会, 12月, Online

そ の 他

【刊行物】

- 1) 植木重治 (2022) 新任教授紹介. 秋田医報 1596, pp. 98-99.

【講演】

- 1) 植木重治 (2022) 感染症とたたかう前線から. 山形県立酒田東高等学校1・2年次合同大学出前講義, 9月, Online
- 2) 渡部 健 (2022) 知っててよかった! ボス・マネジメント. 冬セミスペシャル〜コミュニティホスピタルでコロナ病棟診療を始めるとき〜 日本プライマリ・ケア連合学会 第17回若手医師のための家庭医療学冬季セミナー, 2月, Online

【メディア】

- 1) 植木重治 (2022) 医療監修「はたらく細胞」から学ぶ体の仕組み. 日本テレビ「世界一受けたい授業」, 5月
- 2) 植木重治 (2022) 秋田のアレルギー患者さんへ, 専門医から伝えたいこと. AKT秋田テレビ「あきたメディカル通信」, 8月

Akita J Med 50 (Suppl) : 215, 2023

中央診療施設等

中央手術部

部長 山本浩史 (心臓血管外科学講座 教授)
 副部長 安部恭子 (麻酔科 助教)

学会発表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

- 1) 小笠原清孝, 坂谷慶子, 安部恭子, 中村奈津子, 三浦千春 (2022) 当院手術室における最近15年間の体内遺残インシデントの検討. 第44回日本手術医学会総会, 10月, 東京
- 2) 坂谷慶子, 三浦千春, 小笠原清孝, 中村奈津子, 安部恭子 (2022) 手術時間における予実差異データの情報共有の効果. 第44回日本手術医学会総会, 10月, 東京
- 3) 高敷倫子, 安部恭子, 安藤秀明, 新山幸俊 (2022) 一地方大学手術室における診療看護師 (NP) の現状と課題. 第44回日本手術医学会総会, 10月, 東京

講演・シンポジウム・その他

- 1) 山本浩史 (2022) 開心術中心筋保護法 原理と限界. 第32回日本臨床工学会 (共催セミナー Web), 5月, つくば
- 2) 山本浩史 (2022) 弁尖縁の長さ調節による弁尖立体構造変化がもたらす逆流制御. Tohoku Heart Valve Disease Treatment Symposium, 7月, 仙台
- 3) 山本浩史 (2022) 急性A型大動脈解離の外科治療 Frozen elephant trunk の有用性. 第8回本道循環器カンファランス, 8月, 秋田
- 4) 山本浩史 (2022) 虚血中に心筋細胞内が酸性になるのは何故? (教育講演 II). 第3回日本

心筋保護研究会学術集会, 9月, 東京

- 5) 山本浩史 (2022) 開心術における「心筋保護のコツ」. 中山書店「エクセレンスシリーズ心臓血管外科基本手技」(Web 第2回), 9月
- 6) 山本浩史 (2022) 安全な心筋保護法の基礎的理解とそれに基づく応用「確実な心停止」を中心に. 日本心筋保護研究会 (第2回教育セミナー), 10月, Web アーカイブ
- 7) 山本浩史 (2022) 急性A型大動脈解離に対する外科治療. 第15回大曲仙北医師会循環器勉強会, 11月, 大曲
- 8) 山本浩史 (2022) 開心術中心筋保護法 歴史・成り立ち・原則. 日本心臓血管外科学会 U-40 体外循環研修, Web アーカイブ
- 9) Yamamoto, H. (2022) Survival, aortic remodeling, and reintervention after zone 0 arch repair with frozen elephant trunks for acute type A aortic dissection. The 75th Annual Scientific Meeting of the Japanese Association for Thoracic Surgery, Web アーカイブ
- 10) 山本浩史 (2022) 開心術中心筋保護法 成り立ちと原則. 日本体外循環技術医学会 第13回教育セミナー (体外循環の基本: 心筋保護), Web アーカイブ
- 11) 山本浩史, 山本明美 (2022) 「プロフェッショナル仕事の流儀」を目指す医師夫婦のお話—女性が活躍するためのパートナーの役割—. 第52回日本心臓血管外科学会学術総会 (男女共参画 WG 特別企画「外科医を伴侶に持つ心臓外科医に聞く」), 3月, 横浜

Akita J Med 50 (Suppl) : 217~218, 2023

中央診療施設等

中央放射線部

部	長	橋 本	学 (放射線医学講座教授) (～3月)				
		石 山	公 一 (放射線医学講座准教授) (4月～9月)				
		森	菜 緒 子 (放射線医学講座教授) (10月～)				
副	部 長	石 山	公 一 (放射線医学講座准教授) (～3月, 10月～)				
助	教	古 賀	誠 (～3月)				
		熊 谷	聡 (5月～)				
技師長・副部長		照 井	正 信				
副 技 師 長		木 谷	弘 幸				
		佐 々 木	齊 喜 (～3月)				
		櫻 田	涉				
		篠 原	俊 晴 (4月～)				
主	任	篠 原	俊 晴 (～3月)				
		吉 田	博 一・加 藤 大 樹				
		虻 川	嘉 大・疋 田 一 成				
		斎 藤	智 彦・白 坂 直 哉				
技	師	斎 藤	慶 子・伊 藤 美 保				
		渡 辺	晶 子・佐 々 木 洋 平				
		渡 邊	未 来・戸 嶋 桂 介				
		佐 藤	駿・柳 本 一 貴				
		近 野	昂 史・渡 辺 涼 太				
		高 橋	俊 吾・大 日 向 美 有				
		伊 藤	優 樹・池 田 昌 子				
		関 崎	正 和・斎 藤 七 海				
		伊 藤	雄 介・斎 藤 将 太				
		今 野	拓 哉				
		大 沼	彩 音 (4月～)				
		柏 倉	由 羽 (4月～)				
		間 杉	悠 斗 (4月～)				
		三 浦	菜 々 (4月～)				
		石 山	美 紅 (4月～)				
		佐 々 木	齊 喜 (4月～)				
事務系スタッフ		柴 田	淑 子・高 橋 好 美				
		萩 野	桂				

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Yuzo, Y., Yoshihiro, A., Kimihiko, S., Go, W., Yasuhiko, N., Manabu, H. and Masatake, I. (2022) Usefulness of Liver Uptake Rate Constant in ^{99m}Tc -GSA Scintigraphy for the Risk Stratification of Patients Undergoing Hepatectomy: A New Method for Calculation. *Visc. Med.*, **38**(6), 400-407.

学 会 発 表

B. 国内会議

(b) 地方会

- 1) 池田昌子, 吉田博一, 櫻田 渉, 照井正信 (2022) T2 強調画像における深層学習再構成パラメータが画像に及ぼす影響. 第 12 回東北放射線医療技術学術大会, 11 月, 新潟
- 2) 伊藤優樹, 佐々木洋平, 吉田博一 (2022) 多断面同時励起法併用 DWI 撮像が ADC 値に与える影響の検討. 第 12 回東北放射線医療技術学術大会, 11 月, 新潟
- 3) 今野拓哉, 加藤大樹 (2022) Deep Learning Reconstruction を用いた画像再構成時のストリークアーチファクトへの影響. 第 12 回東北放射線医療技術学術大会, 11 月, 新潟
- 4) 吉田博一, 池田昌子, 櫻田 渉, 照井正信 (2022) 深層学習再構成法を用いた MR 画像における SNR 評価法の基礎的検討. 第 12 回東北放射線医療技術学術大会, 11 月, 新潟

- 5) 渡辺涼太, 近野昂史, 疋田一成, 篠原俊晴, 照井正信 (2022) 経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI) における放射線防護カートの有用性. 令和 4 年度秋田県診療放射線技師会学術大会, 5 月, 秋田
- 6) 渡辺涼太, 近野昂史, 疋田一成, 篠原俊晴, 照井正信 (2022) 経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI) における高さ可変式放射線防護カートの有用性. 第 12 回東北放射線医療技術学術大会, 11 月, 新潟

(c) 研究会

(ii) 地方規模

- 1) 池田昌子, 木谷弘幸 (2022) ソフトウェアにおける骨 SUV 値の検討. 第 10 回秋田県核医学技術研修会, 8 月, 秋田
- 2) 斎藤智彦 (2022) 当院における高精度治療の変遷とタスクシフト. 第 26 回北奥羽放射線治療懇話会, 9 月, Online
- 3) 篠原俊晴 (2022) 秋田県で始めました, SHD インターベンション. 秋田血管撮影技術研究会 (Web), 8 月, 秋田
- 4) 戸嶋桂介 (2022) モダリティ毎に知る抄録作成の基礎～CT～. 秋田県診療放射線技師会令和 4 年度 学術セミナー, 8 月, Online
- 5) 柳本一貴 (2022) 当院における緩和照射について. 第 4 回秋田県放射線治療セミナー ARTS, 10 月, Online
- 6) 渡辺涼太 (2022) 抄録作成の基礎～血管撮影～. 秋田県診療放射線技師会令和 4 年度 学術セミナー, 8 月, Online

Akita J Med 50 (Suppl) : 219, 2023

中央診療施設等

輸 血 部

部長・教授	高橋直人 (血液・腎臓・膠原病内科学講座 教授)
副部長・講師	奈良美保
臨床検査技師	佐藤郁恵・熊谷美香
	佐々木綾子・能登谷武
事務系補佐員	二田理香子

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Kameda, K., Kako, S., Kim, S.W., Usui, Y., Kato, K., Fukuda, T., Uchida, N., Kobayashi, H., Wakayama, T., Sakaida, E., Yano, S., Imada, K., Nara, M., Ikeda, T., Fuchida, S., Ishikawa, J., Sugahara, H., Kanda, J., Kimura, T., Ichinohe, T., Atsuta, Y. and Kondo, E. (2022) Autologous or allogeneic hematopoietic cell transplantation for relapsed or refractory PTCL-NOS or AITL. *Leukemia*, **36**(5), 1361-1370.

B. 国内会議

(c) 研究会

(ii) 地方規模

- 1) 佐々木綾子, 能登谷武, 熊谷美香子, 佐藤郁恵,

奈良美保, 伊藤正一, 高橋直人 (2022) 夜間対応に苦慮した IgG・IgM 混合型温式自己抗体保有症例. 第 121 回日本輸血・細胞治療学会東北支部例会, 9 月, 山形市

- 2) 佐藤郁恵 (2022) 日臨技品質保証施設認定制度～認証に向けての準備～. 一般社団法人秋田県臨床検査技師会 令和 4 年度第 2 回輸血細胞治療部門研修会, 1 月, Online

そ の 他

- 1) 奈良美保 (2022) 秋田大学医学部附属病院における多職種連とオーダーメイド医療(司会). 令和 4 年度第 1 回造血幹細胞移植推進拠点病院 WEB セミナー, 10 月, Online

Akita J Med 50 (Suppl) : 221, 2023

中央診療施設等

医療情報部

部長	大佐賀	敦 (医療情報学講座 准教授)
事務職員	大場 浩	明・佐川 静子
	神坂 つく	くば・長山 晶子
事務補佐員	小田嶋	梓・小林 彰子

原著論文

B. 審査を経ない論文

- 1) 日下部菜央子, 小松千賀子, 佐々木京子, 小林禎子, 大佐賀敦 (2022) COVID-19 感染対策に対応したベッドコントロールミーティング～院内ビデオミーティングの活用～. 第 23 回日本医療情報学会看護学術大会論文集, 149-152.

林禎子, 大佐賀敦 (2022) COVID-19 感染対策に対応したベッドコントロールミーティング～院内ビデオミーティングの活用～. 第 23 回日本医療情報学会看護学術大会, 7 月, 長崎

(b) 地方会

- 1) 大佐賀敦 (2022) 病院情報システム・ネットワークの帯域評価、映像・動画配信の活用. 第 14 回日本医療情報学会東北支部総会・学術研究会, 3 月, Online

学会発表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

- 1) 日下部菜央子, 小松千賀子, 佐々木京子, 小

Akita J Med 50 (Suppl) : 223~226, 2023

中央診療施設等

病 理 診 断 科・病 理 部

科長・部長・病院教授	南 條 博
助 教	廣 嶋 優 子 (4月~)
医 員	伊 藤 行 信 (~3月)
	鈴 木 麻 弥・伊 藤 步 美
	宮 部 賢 (~3月)
	畠 山 遥
	小 山 慧 (10月~)
	三 浦 将 仁・宮 内 隼 弥
	高 橋 彩 菜 (4月~)
	石 成 隆 寛 (4月~)
	月 田 光 (4月~)
技 官	伊 藤 智・鈴 木 世 志 子
	成 田 か す み・三 浦 桃 子
	三 浦 文 仁
技術系補佐員	古 田 光 恵
事務系補佐員	鈴 木 恵 美

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Atari, M., Imai, K., Nanjo, H., Wakamatsu, Y., Takashima, S., Kurihara, N., Kuriyama, S., Suzuki, H., Demura, R., Harata, Y., Hiroshima, Y., Sato, Y., Nomura, K. and Minamiya, Y. (2022) Rapid intraoperative Ki-67 immunohistochemistry for lung cancer using non-contact alternating current electric field mixing. *Lung Cancer*, **173**, 75-82.
- 2) Hanazono, A., Sanpei, Y., Shimada, H., Yasuda, K., Takahashi, Y., Funasaka, H., Sagehashi, R., Hiroshima, Y., Nanjo, H. and Sugawara, M. (2022) Remission of idiopathic retroperitoneal fibrosis by ofatumumab as a disease-modifying therapy for multiple sclerosis. *eNeurologicalSci*, **29**,

100428.

- 3) Imai, K., Nanjo, H., Shigeeda, W., Sugai, T., Ito, T., Maniwa, Y., Takashima, S., Saito, H., Yanagawa, N., Tanaka, Y., Doi, T., Hiroshima, Y., Nomura, K., Tanino, M., Tanaka, S., Minamiya, Y. and R-IHC Study Group. (2022) Intraoperative rapid immunohistochemistry with noncontact antibody mixing for undiagnosed pulmonary tumors. *Cancer Sci.*, **114**(2), 702-711.
- 4) Kato, Y., Shimazu, K., Fukuda, K., Yoshida, T., Taguchi, D., Shinozaki, H., Nanjyo, H. and Shibata, H. (2022) Two cases of ALK-altered cancers of unknown primary diagnosed by immunohistochemistry. *Case Rep. Oncol.*, **15**(1), 21-26.
- 5) Nara, M., Komatsuda, A., Sawamura, M., Abe, F., Kaga, H., Saito, A., Saito, M., Imaizumi, C., Nan-

(224)

中央診療施設等 病理診断科・病理部

- jo, H., Wakui, H. and Takahashi, N. (2022) Long-term prognosis of monoclonal immunoglobulin-associated glomerular diseases with non-organized deposits: A report of 38 cases from a Japanese single center. *Clin. Nephrol.*, **98**(3), 135-145.
- 6) Ono, T., Hinz, F., Tanaka, S., Takahashi, M., Nanjo, H., von Deimling, A. and Shimizu, H. (2022) Adult cerebellar glioblastoma categorized into a pediatric methylation class with a unique radiological and histological appearance: illustrative case. *J. Neurosurg. Case Lessons*, **3**(14), CASE2260.
- 7) Sasaki, Y., Kashima, S., Koyama, T., Hiroshima, Y., Amano, K., Takahashi, S., Nara, T., Koizumi, A., Yamamoto, R., Numakura, K., Saito, M., Narita, S., Nanjo, H., Satoh, S. and Habuchi, T. (2022) [A case of renal anastomosing hemangioma]. *Hinyokika Kyo*, **68**(8), 265-269.
- 8) Suzuki, H., Ono, T., Koyota, S., Takahashi, M., Sugai, T., Nanjo, H. and Shimizu, H. (2022) Clinical, histopathological, and molecular features of IDH-wildtype indolent diffuse glioma: comparison with typical glioblastoma. *J. Neurooncol.*, **159**(2), 397-408.
- 9) Takahashi, E., Imai, K., Fukuyama, M., Terata, K., Nanjo, H., Ishiyama, K., Hiroshima, Y., Yatsuyanagi, M., Kudo, C., Morishita, A., Wakita, A., Takashima, S., Sato, Y., Nomura, K. and Minamiya, Y. (2022) Changes in serum trace element concentrations before and after surgery in resectable breast cancer. *Anticancer Res.*, **42**(11), 5323-5334.
- 10) 小山 慧, 尾身牧子, 外岡暁子 (2022) SMARCA4 の発現消失を伴う腺肉腫様子宮腫瘍の1例. 婦人科病理学会雑誌 **13**(2), 83-87.
- 11) 佐々木禎, 嘉島相輝, 小山 貴, 廣嶋優子, 天野賢士, 高橋修平, 奈良健平, 小泉 淳, 山本竜平, 沼倉一幸, 齋藤 満, 成田伸太郎, 南條 博, 佐藤 滋, 羽瀧友則 (2022) 腎 Anastomosing hemangioma の1例. 泌尿器科紀要 **68**(8), 265-269.

B. 審査を経ない論文

- 1) 伊藤 智, 成田かすみ, 三浦文仁, 三浦桃子,

廣嶋優子, 南條 博 (2022) 液状化細胞診標本による気管支肺胞洗浄液中細胞分画の検討と二重免疫細胞化学による CD4/CD8 陽性細胞比算出の試み. 秋田県臨床細胞学会誌 **28**, 1-6.

- 2) 北村峻祐, 丸山 祐, 中西将也, 中川佑貴, 南條 博, 赤上陽一, 中村竜太, 久住孝幸, 吉野雅彦 (2021) 病理診断のための薄切片厚さの高精度化法の検討. 精密工学会学術講演会講演論文集 **2021A**, 283-284.
- 3) 佐藤寛恭, 北村峻祐, 中川佑貴, 南條 博, 赤上陽一, 中村竜太, 久住孝幸, 吉 雅彦 (2022) 病理診断試料の薄切における切削力および薄切片厚さの検討. 精密工学会学術講演会講演論文集 **2022S**, 503-504.
- 4) 佐藤寛恭, 中前圭人, 中川佑貴, 南條 博, 赤上陽一, 中村竜太, 久住孝幸, 吉野雅彦 (2022) 病理診断試料の薄切用マイクローム刃の耐久性試験. 精密工学会学術講演会講演論文集 **2022A**(0), 278-279.

学 会 発 表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

- 1) 阿部一之助, 南條 博, 石井 明, 金子 翔, 水木悠太, 鷺谷清忠, 小西哲平 (2022) 子宮頸部細胞診の精度管理—AI を用いた新たな試み—. 第 61 回日本臨床細胞学会秋期大会, 11 月, 仙台市
- 2) 伊藤 智, 成田かすみ, 三浦文仁, 三浦桃子, 廣嶋優子, 吉田 誠, 南條 博 (2022) 当院における体腔液細胞診断—作製法の現状と将来展望—. 第 61 回日本臨床細胞学会秋期大会, 11 月, 仙台市
- 3) 伊藤行信, 吉田 誠, 宮内隼弥, 宮部 賢, 工藤幸紹, 馬越通信, 後藤明輝 (2022) 劇症型心筋炎の一剖検例. 第 111 回日本病理学会総会, 4 月, 神戸市
- 4) 馬越通信, 鈴木兼一郎, 田中正光, 浅部幸紹 [工藤], 小山 慧, 宮内隼弥, 宮部 賢, 伊藤行信, 吉田 誠, 後藤明輝 (2022) 超高感度 in situ hybridization 法を用いた腫瘍由来細胞外小胞の可視化の試みと検討. 第 111 回日本病理学会総会, 4 月, 神戸市

- 5) Suzuki, M., Shibata, H. and Omori, Y. (2022) A curcumin analog diminishes cancer stem cell population by inhibiting interaction of HSP70/HSP40 to its substrates. 第 81 回日本癌学会学術集会, 9 月, 横浜市
 - 6) 高橋彩菜, 村上正代, 小林未来, 松崎郁夫, 後藤明輝 (2022) 胸腺腫が疑われた, 胸腺内骨化の一例. 第 111 回日本病理学会総会, 4 月, 神戸市
 - 7) 土江博幸, 馬越通信, 永澤博幸, 長谷川匡, 岡田恭司, 南條 博, 後藤明輝, 宮腰尚久 (2022) 腹壁発生の round cell sarcoma with EWSR1-non-ETS fusion (EWSR1-NFATC2 sarcoma) の 1 例. 第 55 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 7 月, 東京
 - 8) 南條 博, 黒瀬優介, 廣嶋優子, 原田達也 (2022) 核分裂像 AI 開発の試み. 第 111 回日本病理学会総会, 4 月, 神戸市
 - 9) 畠山 遥, 小野 巖, 大森泰文 (2022) 感染に伴う全身性動脈炎が疑われた 1 剖検例. 第 111 回日本病理学会総会, 4 月, 神戸市
 - 10) 廣嶋優子, 南條 博, 今井一博, 寺田かおり, 小野隆裕, 中村竜太, 大久保義真, 赤上陽一, 南谷佳弘 (2022) 10 年間の術中迅速免疫染色 (R-IHC) の成績と今後の展望. 第 111 回日本病理学会総会, 4 月, 神戸市
 - 11) 廣嶋優子, 三浦文仁, 三浦桃子, 成田かすみ, 鈴木世志子, 伊藤 智, 南條 博 (2022) 当院における唾液腺細胞診の導入について. 第 61 回日本臨床細胞学会秋期大会, 11 月, 仙台市
 - 12) 三浦将仁, 山本洋平, 鈴木麻弥, 伊藤歩美, 畠山 遥, 大森泰文 (2022) PARS2-associated mitochondrial disease (PAMD) の 1 剖検例. 第 111 回日本病理学会総会, 4 月, 神戸市
 - 13) 宮部 賢, 吉田 誠, 馬越通信, 伊藤行信, 工藤幸紹 [浅部], 南條 博, 後藤明輝 (2022) 植込型補助人工心臓植込術後に剖検となった拡張型心筋症の一例. 第 111 回日本病理学会総会, 4 月, 神戸市
 - 14) 吉田 誠, 伊藤行信, 馬越通信, 宮部 賢, 宮内隼弥, 浅部圭紹, 南條 博, 増田弘毅, 後藤明輝 (2022) 拡張型心筋症における介在板の形態変化の検討. 第 111 回日本病理学会総会, 4 月, 神戸市
- (b) 地方会
- 1) 馬越通信, 高橋彩菜, 菅 康徳, 後藤啓介, 吉田 誠, 後藤明輝 (2022) 背部皮膚腫瘍の 1 例. 第 94 回日本病理学会東北支部学術集会, 7 月, 盛岡市
 - 2) 工藤千晶, 寺田かおり, 八柳美沙子, 高橋絵梨子, 森下 葵, 南條 博, 南谷佳弘 (2022) 当院でのがんゲノムプロファイル検査の現状. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会, 2 月, Online
 - 3) 高橋絵梨子, 寺田かおり, 八柳美沙子, 工藤千晶, 森下 葵, 南條 博, 石山公一, 南谷佳弘 (2022) 当院における Palbociclib 投与症例の検討. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会, 2 月, Online
 - 4) 廣嶋優子, 小野隆裕, 矢野道広, 清水宏明, 南條 博 (2022) 小児脳腫瘍の一例. 第 94 回日本病理学会東北支部学術集会, 7 月, 盛岡市
 - 5) 廣嶋優子, 福田春彦, 南條 博 (2022) 乳腺腫瘍の一例. 第 93 回日本病理学会東北支部学術集会, 2 月, Online
 - 6) 水木悠太, 石井 明, 金子 翔, 阿部一之助, 南條 博 (2022) 当センターの ASC-H 症例の検討. 第 58 回東北臨床細胞学会学術集会, 7 月, 山形市
 - 7) 八柳美沙子, 寺田かおり, 高橋絵梨子, 工藤千晶, 森下 葵, 南條 博, 石山公一, 南谷佳弘 (2022) 当院における Trastuzumab Deruxstecan の使用経験. 第 19 回日本乳癌学会東北地方会, 2 月, Online
- (c) 研究会
- (i) 全国規模
- 1) 伊藤行信, 尾山 武, 堀江真史, 吉田 誠, 後藤明輝, 前田大地 (2022) ウサギ In vivo 血管新生モデルにおける血管新生の分子生物学的検討. 第 18 回日本病理学会カンファレンス, 7 月, 仙台市
 - 2) 小山 慧, 前田大地, 後藤明輝 (2022) 正常卵管にみられる β -catenin 異常細胞集塊 “ β -catenin signature”. 第 18 回日本病理学会カンファレンス, 7 月, 仙台市
 - 3) 吉田 誠, 伊藤行信, 馬越通信, 宮部 賢, 宮内隼弥, 高橋彩菜, 石成隆寛, 月田 光, 浅部圭紹, 前田大地, 増田弘毅, 南條 博,

(226)

中央診療施設等 病理診断科・病理部

後藤明輝(2022) 拡張型心筋症における心筋介在板の形態変化から読み解く心筋細胞のエナジェティクス. 第18回日本病理学会カンファレンス, 7月, 仙台市

(症例3出題者). 第58回東北臨床細胞学会学術集会, 7月, 山形市

2) 南條 博(2022) 病理診断に役立つAI開発の試み. 2022年度第3回研究プロモートセミナー(医学系研究科 研究FD), 6月, 秋田

そ の 他

1) 伊藤 智(2022) スライドカンファレンス

Akita J Med 50 (Suppl) : 227, 2023

中央診療施設等

腫瘍情報センター

センター長	本	山	悟 (～3月) (地域がん医療学講座 教授)
	柴	田	浩 行 (4月～) (臨床腫瘍学講座 教授)
副センター長	小	泉	重 仁 (消化器内科学・神経内科学講座 講師)
専門職員	吉	田	めぐみ・齋 藤 恵理香
	吉	田	美穂子

報告書, 班会議報告書

- 1) 南谷佳弘, 柴田浩行, 小泉重仁, 齋藤恵理香, 吉田めぐみ, 吉田美穂子 (2022) 秋田県がん

診療連携協議会「がん治療に関する調査」令和4年度報告書. 2021年秋田県院内がん登録解析結果報告

Akita J Med 50 (Suppl) : 229~231, 2023

中央診療施設等

緩和ケアセンター

センター長	安藤秀明 (看護学講座 教授)
副センター長	杉本侑孝・石川栄子
委員	吉田泰一・平野梨聖
	五十嵐遙・三浦京子
	遠藤理絵・加賀谷晶子
	成田まい・中山真紀
	若松麻衣子・齊藤美保子
事務系補佐員	山本梨絵

著書

- 1) 今野麻衣子, 三浦京子 (2022) 治療期および終末期, 看取り時における子どもへの支援. エンド・オブ・ライフケア 6(3), 日経研出版, pp. 46-52.

学会発表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

- 1) 井島大地, 清水美樹, 河邊亮太, 利 緑, 吉岡政人, 安藤秀明, 白山公幸 (2022) 秋田大学大学院診療看護師 (NP) コースにおける地域密着型病院での NP 統合実習の学び. 8 回日本 NP 学会, 11 月, 名古屋市
- 2) 河邊亮太, 利 緑, 吉岡政人, 安藤秀明 (2022) COVID-19 患者受入前後での集中治療室看護師の看護業務変化. 8 回日本 NP 学会, 11 月, 名古屋市
- 3) 工藤尚也, 藤井詩乃, 前田香織, 三宅 徹, 利 緑, 安藤秀明 (2022) 統合実習の経験から得た秋田大学医学部附属病院診療看護師 (NP) としての展望第. 8 回日本 NP 学会, 11 月, 名古屋市

- 4) 高敷倫子, 安部恭子, 安藤秀明, 新山幸俊 (2022) 一地方大学手術室における診療看護師 (NP) の現状と課題. 第 44 回日本手術衣学会総会, 10 月, 東京

(b) 地方会

- 1) 橋口さおり, 安藤秀明 (2022) がん疼痛緩和急性期から慢性期へ変化に対応する. 日本緩和医療学会第 3 回東北支部学術大会, 10 月, 福島市

(c) 研究会

(ii) 地方規模

- 1) 安藤秀明 (2022) 人生の最終段階におけるアドバンス・ケア・プランニング. 第 1 回 Akita 地域緩和ケア勉強会, 1 月, 秋田市
- 2) 安藤秀明 (2022) 緩和ケア外来におけるがんサポーターケア. がんサポーターケアオンラインセミナー in 秋田, 2 月, 秋田市
- 3) 安藤秀明 (2022) 婦人科癌患者に対する緩和ケアの関わり. 第 10 回秋田女性医学研究会, 2 月, 秋田市
- 4) 安藤秀明 (2022) クロージング・リマークス. 秋田県の疼痛治療を考える Web セミナー, 2 月, 秋田市
- 5) 安藤秀明 (2022) すべてのコツは, 痛みのアセスメントにあり! 令和 4 年度秋田県病院

(230)

中央診療施設等 緩和ケアセンター

薬剤師会学術講演会, 10月, 秋田市

そ の 他

- 1) 安藤秀明(2022) 新型コロナウイルス感染症あれこれ. 秋田放送 みんなの健康, 2月, 秋田市(ラジオ放送)
- 2) 安藤秀明(2022) がんについて学びましょう. 能代市立湊城西小学校がん教室, 2月, 能代市
- 3) 安藤秀明(2022) 本人の意思の確認が出来る場合の進め方. 令和3年度青森県立中央病院・五戸総合病院「本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会」2月, 青森市
- 4) 安藤秀明(2022) 本人にとって最善の方法について合意する. 令和3年度青森県立中央病院・五戸総合病院「本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会」2月, 青森市
- 5) 安藤秀明(2022) 人生会議のすすめかた. 令和3年度在宅医療・介護に関する市民講演会, 3月, 秋田市
- 6) 安藤秀明(2022) 療養場所の選択と地域連携. 能代山本地域緩和ケア研修会2022, 3月, 能代市
- 7) 安藤秀明(2022) 「新たな高大接続教育の架け橋: ICTを活用した教育の在り方」医学部保健学科におけるDXを活用した授業の実践. 秋田大学高大接続教育フォーラム, 3月, 秋田市
- 8) 安藤秀明(2022) がん教育. 大館鳳鳴高校がん教育, 6月, 大館市
- 9) 安藤秀明(2022) グループワーク. 大館鳳鳴高校がん教育, 6月, 大館市
- 10) 安藤秀明(2022) 秋田大学医学部保健学科心ゆたかで倫理観ある医療人を目指して. 令和4年度なまはげ学校, 8月, 秋田市
- 11) 安藤秀明(2022) 終活¥人生会議について考えてみましょう. 令和4年度秋田大学市民公開講座, 8月, 秋田市
- 12) 安藤秀明(2022) 意思決定に関連する法的な知識. 令和4年度介護福祉施設等看護職員資質向上研修, 8月, 秋田市
- 13) 安藤秀明(2022) ガイドラインに基づいた意思決定. 令和4年度介護福祉施設等看護職員資質向上研修, 8月, 秋田市
- 14) 安藤秀明(2022) アドバンス・ケア・プランニング. 令和4年度介護福祉施設等看護職員資質向上研修, 8月, 秋田市
- 15) 安藤秀明(2022) 終末期の身体アセスメントと症状マネジメント. 令和4年度介護福祉施設等看護職員資質向上研修, 8月, 秋田市
- 16) 安藤秀明(2022) 価値観をアセスメントする. 令和4年度介護福祉施設等看護職員資質向上研修, 8月, 秋田市
- 17) 安藤秀明(2022) 意思決定能力の評価. 令和4年度介護福祉施設等看護職員資質向上研修, 8月, 秋田市
- 18) 安藤秀明(2022) e-Learningの復習・質問. 湯沢雄勝地域緩和ケア研修会2022, 9月, 湯沢市
- 19) 安藤秀明(2022) 療養場所の選択と地域連携(肺がん). 令和4年度第2回獨協医科大学緩和ケア研修会, 10月, Online
- 20) 安藤秀明(2022) 手順書の作成過程とその活用. 令和4年度第2回看護師特定行為研修指導者講習会, 10月, Online
- 21) 安藤秀明(2022) 「がん」についてもっと学び, 対策を! 令和4年度能代健康万福塾, 10月, 能代市
- 22) 安藤秀明(2022) 「がん」についてもっと知ろう! 令和4年度 秋田大学医学部附属病院・秋田県がん診療連携協議会・秋田県立図書館連携「がん情報セミナー」, 11月, 秋田市
- 23) 安藤秀明(2022) ACP(人生会議)について. 令和4年度多職種連携研修会「医療・介護関係者のためのACP(人生会議)研修」, 11月, 秋田市
- 24) 安藤秀明(2022) 総括. 令和4年度多職種連携研修会「医療・介護関係者のためのACP(人生会議)研修」, 11月, 秋田市
- 25) 安藤秀明(2022) がんについて学びましょう. 天王みどり学園がん教育, 12月, 秋田市
- 26) 安藤秀明(2022) 診療看護師(NP)ってどんな人? 秋田大学医学部保健学科公開講座, 12月, 秋田市
- 27) 安藤秀明(2022) 手順書の作成過程とその活用. 令和4年度第4回看護師特定行為研修指導者講習会, 12月, Online
- 28) 安藤秀明(2022) 超スマート社会の地域包括ケア. 超スマート社会のプラクティス 12月,

秋田市
29) 藤原 大, 安藤秀明 (2022) コミュニケー

ション. 湯沢雄勝地域緩和ケア研修会 2022,
9月, 湯沢市

Akita J Med 50 (Suppl) : 233~239, 2023

中央診療施設等

総合診療医センター

センター長	植木重治	(総合診療・検査診断学講座 教授)
副センター長	北村俊晴	
准教授	守時由起	(総合診療・検査診断学講座 准教授)
助教	嵯峨亜希子	(総合診療・検査診断学講座 助教)
特任助教	入江康仁	
	佐藤佳澄	(~6月)
	平澤暢史	(7月~)
	佐々木智子	(9月~)
湖東分室	漆畑宗介	(湖東厚生病院)
医員	引地悠	(総合診療部医員)
研究員	渡部健	(男鹿なまはげ地域医療・総合診療連携講座)
専攻医	高橋琴乃	(市立大森病院)
	松本奈津美	(男鹿みなと市民病院)
事務系補佐員	渡邊保	
	小松未帆	

著書

- 1) Ueki, S., Fukutomi, Y., Miyabe, Y., Yamada, T., Oguma, T. and Asano, K. (2022) Allergic fungal diseases in the upper and lower airways. In : Jackson, D.J., Wechsler, M.E. (eds.) *ERS Monograph*. European Respiratory Society, Sheffield, pp. 119-140.
- 2) 植木重治 (2022) Charcot-Leyden 結晶. 蛇澤晶, 熊坂利夫 (編) 非腫瘍性疾患病理アトラス 肺. 文光堂, 東京, pp. 334-335.

総説・解説

- 1) 有馬実咲, 福地峰世, 植木重治 (2022) ETo-sis と好酸球性炎症. COPD と気管支喘息, その周辺疾患. 日本臨床 **80**(6), 564-569.

- 2) 伊東慶介, 植木重治 (2022) 好酸球細胞死と耳鼻科疾患. 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会誌 **4**, 161-164.
- 3) 富澤宏基, 齊藤雅也, 植木重治 (2022) 好酸球による組織障害機序. リウマチ科 **67**(2), 229-235.
- 4) 富澤宏基, 植木重治 (2022) アレルギー性炎症における好酸球の役割. 医学のあゆみ **281**(1), 26-30.
- 5) 引地悠, 植木重治 (2022) アレルギー疾患の基本と最近の知見. *Med. Technol.*, **50**(11), 1168-1172.
- 6) 福地峰世, 植木重治 (2022) 新たな好酸球細胞死を反映するバイオマーカーの可能性. 秋田医学 **49**(1), 45-51.
- 7) 藤枝重治, 小山佳佑, 足立直人, 吉田加奈子, 木戸口正典, 加藤幸宣, 二之宮貴弘, 意元義政,

(234)

中央診療施設等 総合診療医センター

坂下雅文, 植木重治, 高林哲司 (2022) 好酸球性副鼻腔炎の病態と病理. 耳鼻咽喉科 **1** (5), 566.

- 8) 松本奈津美, 植木重治 (2022) 「顆粒球」とアレルギー. 治療 **104** (10), 1225-1227.
- 9) 渡部 健, 植木重治 (2022) 細胞外トラップ (NETs・EETs) 研究の潮流. アレルギー **71** (3), 200-205.

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Hagiwara, S., Ueki, S., Watanabe, K., Hizuka, K. and Etani, Y. (2022) Case of hypereosinophilic syndrome with gastrointestinal involvement showing tissue eosinophil cytolysis. *Asia Pac. Allergy*, **12** (4), e37.
- 2) Hashimoto, T., Ueki, S., Kamide, Y., Miyabe, Y., Fukuchi, M., Yokoyama, Y., Furukawa, T., Azuma, N., Oka, N., Takeuchi, H., Kanno, K., Ishida-Yamamoto, A., Taniguchi, M., Hashiramoto, A. and Matsui, K. (2022) Increased circulating cell-free DNA in eosinophilic granulomatosis with polyangiitis: Implications for eosinophil extracellular traps and immunothrombosis. *Front. Immunol.*, **12**, 801897.
- 3) Hikichi, H., Hasegawa, R., Saga, A., Saga, T. and Ueki, S. (2022) Diagnostic Challenges in pulmonary embolism in young adults: Thrombosis associated with cytomegalovirus and mycoplasma pneumoniae. *Cureus*, **14** (12), e32757.
- 4) Imoto, Y., Ueki, S., Kato, Y., Yoshida, K., Morikawa, T., Kimura, Y., Kidoguchi, M., Tsutsumiuchi, T., Koyama, K., Adachi, N., Ito, Y., Ogi, K., Sakashita, M., Yamada, T., Schleimer, R.P., Takabayashi, T. and Fujieda, S. (2022) Elevated Serum Leptin Levels in Patients with Eosinophilic Chronic Rhinosinusitis. *Front. Pharmacol.*, **12**, 793607.
- 5) Irie, Y., Nakae, H., Saga A., Hikichi, H., Watanabe, K., Satoh, K., Kitamura, T. and Ueki, S. (2022) Case of the efficacy of Kampo medicine for relatively prolonged side effects following coronavirus disease 2019 vaccine. *J. Hosp. Gen. Med.*, **4** (3), 43-152.
- 6) Ito, T, Satoh, K., Sakaki, K. and Sakusabe, M. (2022) Acute esophageal necrosis as an unusual cause of epigastric pain in the emergency department (Case Report). *Case Rep. Acute Med.*, **5** (2-3), 6-11.
- 7) Kitamura, T., Nakae, H., Irie, Y., Satoh, K., Hirasawa, N., Kameyama, K., Suzuki, Y., Maeno, K., Yoshida, K. and Okuyama, M. (2022) Safety of jidabokuippo administration based on adverse event rate. *Tradit. Kampo Med.*, **9** (1), 18-24
- 8) Miyabe, Y., Tomizawa, H., Saito, H., Yamada, T., Shiina, K., Koizumi, K., Kawasaki, Y., Suzuki, S., Fukuchi, M., Ueki, S., Ebihara, T. and Yamada, T. (2022) Quantification of *Aspergillus fumigatus* antigen Asp f 1 in airway tissue and allergic inflammation. *Allergy*, **77** (10), 3154-3156.
- 9) Nakae, H., Irie, Y., Kitamura, T. and Okuyama, M. (2022) Application of traditional Japanese drug jidabokuippo in a modern society. *Front. Pharmacol.*, **13**, 853012.
- 10) Nakae, H., Satoh, K. and Okuyama, M. (2022) Plasma adiponectin levels in acute liver failure patients treated with plasma exchange with dialysis. *Ther. Apher. Dial.*, **26** (3), 671-672.
- 11) Neves, V.H., Palazzi, C., Bonjour, K., Ueki, S., Weller, P.F. and Melo, R.C.N. (2022) In vivo ETosis of human eosinophils: The ultrastructural signature captured by TEM in eosinophilic diseases. *Front. Immunol.*, **13**, 938691.
- 12) Nishiyama, Y., Koya, T., Nagano, K., Abe, S., Kimura, Y., Shima, K., Toyama-Kosaka, M., Hasegawa, T., Sasaki, T., Shinbori, K., Ueki, S., Takamura, K. and Kikuchi, T. (2022) Two cases of dupilumab-associated eosinophilic pneumonia in asthma with eosinophilic chronic rhinosinusitis: IL-5-driven pathology? *Allergol. Int.*, **71** (4), 548-551.
- 13) Nowicki, M., Berg, B.W., Okada, Y., Yagi, M.S., Tomisawa, T., Kawahara, C., Ouchi, G., Moritoki, Y. and Otori, T. (2022) A patient safety champion program for interprofessional health care educators: Implementation and outcomes. *J. Contin. Educ. Health Prof.*, **42** (3), 211-218.
- 14) Sasaki, H., Miyata, J., Irie, A., Kuwata, A., Kouzaki, Y., Ueki, S. and Kawana, A. (2022) Case

Report : Eosinophilic bronchiolitis with eosinophil ETosis in mucus plugs successfully treated with benralizumab. *Front. Pharmacol.*, **12**, 826790.

- 15) Satoh, K., Hirasawa, N., Yoshida, K., Okuyama, M. and Nakae, H. (2022) Baclofen withdrawal with reversible posterior leukoencephalopathy syndrome : Bacterial meningitis mimicker. *J. Emerg. Med.*, **62**(5), e98-e100.
- 16) Tomizawa, H., Yamada, Y., Arima, M., Miyabe, Y., Fukuchi, M., Hikichi, H., Melo, R.C.N., Yamada, T. and Ueki, S. (2022) Galectin-10 as a potential biomarker for eosinophilic diseases. *Biomolecules*, **12**(10), 1385.

学 会 発 表

A. 国際会議

- 1) Ueki, S. (2022) Eosinophil ETosis, a cytolytic degranulation and diseases (Symposium). European Academy of Asthma and Clinical Immunology Hybrid Congress 2022, Jul., Prague, Czechia
- 2) Ueki, S. (2022) Eosinophil cell death in allergic inflammation (Symposium). Chinese College of Allergy and Asthma annual meeting 2022, Dec., Online

B. 国内会議

(a) 総会・年会

- 1) 有馬実咲, 植木重治, 山本梨絵, 富谷陽子, 守時由起, 嵯峨知生 (2022) 補体成分によるヒト好酸球のETosisの誘導. 第69回日本臨床検査医学会学術集会, 11月, 栃木
- 2) 有馬実咲, 上出庸介, 福地峰世, 山本梨絵, 高橋 縁, 植木重治 (2022) 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症患者の血清における好酸球細胞質蛋白 galectin-10 の測定. 第62回日本臨床化学会, 9月, 富山
- 3) 有馬実咲, 福地峰世, 西山将平, 伊東慶介, 富澤宏基, 引地 悠, 守時由起, 植木重治 (2022) 免疫組織化学染色における好酸球の細胞崩壊の定量的指標の検討. 第71回日本アレルギー学会学術大会, 10月, 東京
- 4) 伊東慶介, 福地峰世, 有馬実咲, 山本梨絵, 富谷陽子, 守時由起, 嵯峨知生, 植木重治

(2022) 好酸球 ETosis を起点とした免疫学的血栓形成. 第69回日本臨床検査医学会学術集会, 11月, 栃木

- 5) 入江康仁 (2022) 秋田県内における熱傷調査から示唆される後期高齢者熱傷における問題点について. 第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 5月, Online
- 6) 入江康仁 (2022) 新型コロナウイルス感染症に対する漢方治療 (シンポジウム). 第72回日本東洋医学会学術総会, 5月, Online
- 7) 入江康仁, 中永士師明 (2022) COVID-19 急性期治療報告 (シンポジウム). 第39回和漢医薬学会学術大会, 8月, Online
- 8) 入江康仁, 中永士師明, 嵯峨亜希子, 引地 悠, 渡部 健, 佐藤佳澄, 北村俊晴, 植木重治 (2022) 新型コロナワクチン接種後の比較的長期に渡る副反応に対して漢方治療が有効であった1例. 第24回日本病院総合診療学会・学術集会, 2月, Online
- 9) 植木重治 (2022) 好酸球ムチンと上下気道疾患(教育講演). 第8回総合アレルギー講習会, 3月, 横浜
- 10) 植木重治 (2022) Eosinophil cell death induces tissue damage in EGPA (シンポジウム). 第63回日本神経学会学術大会, 5月, 東京
- 11) 植木重治 (2022) NON-type2 に潜む好酸球性炎症(シンポジウム). 第71回日本アレルギー学会学術大会, 10月, 東京
- 12) 植木重治 (2022) 好酸球の特性からみた病態の理解 (シンポジウム). 第71回日本アレルギー学会学術大会, 10月, 東京
- 13) 植木重治 (2022) EGPA の病態における好酸球の寄与. 第62回日本呼吸器学会学術講演会, 4月, 京都
- 14) 奥山 学, 佐藤佳澄, 入江康仁, 菅 広信, 工藤光生, 佐藤博昭, 大倉和貴, 中永士師明 (2022) オープン ICU で標準化を進めていくには. 第49回日本集中治療医学会, 3月, Online
- 15) 加藤忠相, 柳澤優子, 漆畑宗介 (2022) プライマリ・ケアは「住まい」にどこまで踏み込むか? (シンポジウム). 第13回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 6月, 神奈川
- 16) 上出庸介, 福地峰世, 河崎裕一郎, 藤田教寛, 岩本圭右, 矢野光一, 岩田真紀, 永山貴紗子,

(236)

中央診療施設等 総合診療医センター

- 中村祐人, 濱田祐斗, 劉 楷, 渡井健太郎, 林 浩昭, 森 晶夫, 谷口正実, 福富友馬, 植木重治, 関谷潔史 (2022) 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の活動性と血清中 galectin-10 は相関する. 第 62 回日本呼吸器学会学術講演会, 4 月, 京都
- 17) 菊地優子, 永沼綾子, 齊藤由紀子, 荒井杏子, 石山史奈, 小林則子, 植木重治 (2022) 血液形態診断のためのケースカンファレンス 白血球増多 (50 歳代男性). 第 69 回日本臨床検査医学会学術集会, 11 月, 栃木
- 18) 小屋俊之, 外山美史, 島賢治郎, 長谷川隆志, 植木重治 (2022) Dupilumab 使用後に好酸球性肺炎を来した 2 例. 第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 10 月, 東京
- 19) 佐藤佳澄 (2022) ARDS 患者の全身ケア 患者を“悪化させない”管理がコンセプト. 第 49 回日本集中治療医学会, 3 月, Online
- 20) 佐藤佳澄, 奥山 学, 入江康仁, 北村俊晴, 亀山孔明, 平澤暢史, 鈴木悠也, 前野恭平, 吉田健二, 中永士師明 (2022) 新しい血液浄化療法 continuous PED が aHUS のよい適応であることを示した一例. 第 49 回日本集中治療医学会, 3 月, Online
- 21) 佐藤 悠, 九嶋祥友, 吉田亘輝, 矢澤那奈, 安藤雄基, 清水悠佳, 内田信彦, 丁 倫奈, 正和明哲, 中村祐介, 奥富泰明, 曾田紗世, 池田直哉, 新井 良, 知花和行, 武政聡浩, 清水泰生, 春名真一, 植木重治, 仁保誠治 (2022) デュピルマブ投与の有無による慢性好酸球性肺炎 (CEP) が再燃した組織の比較. 第 62 回日本呼吸器学会学術講演会, 4 月, 京都
- 22) 清水洋介, 漆畑宗介, 駒田雄一, 内山直樹, 新野保路, 岩浪 悟, 守本陽一 (2022) これからのプライマリ・ケア×まちづくり決起集会! (インタレストグループ). 第 13 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 6 月, 神奈川
- 23) 富澤宏基, 有馬実咲, 宮部 結, 嵯峨亜希子, 山田武千代, 植木重治 (2022) 好酸球 ETosis を誘導する刺激の検討. 第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 10 月, 東京
- 24) 富澤宏基, 有馬実咲, 宮部 結, 今野泰典, 守時由起, 山田武千代, 植木重治 (2022) 好酸球 ETosis がヒト鼻腔上皮細胞に与える影響. 第 71 回日本アレルギー学会学術大会, 10 月, 東京
- 25) 野口裕輔, 塩田星児, 渡部 健, 白石吉彦 (2022) 総合診療医育成の新たな取り組みと今後の動き. 第 13 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 6 月, 神奈川
- 26) 萩原真一郎, 植木重治, 渡部 健, 肥塚慶之助, 恵谷ゆり (2022) 好酸球細胞崩壊を示した消化管病変を有する特発性好酸球増多症候群の男児例. 第 49 回日本小児栄養消化器肝臓学会, 9 月, 東京
- 27) 密山要用, 岩浪 悟, 漆畑宗介, 近藤敬太, 阪本直人, 玉井友里子, 守本陽一, 岩瀬 翔 (2022) You はどうしてまちに出る!? (セッション). 第 34 回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー, 8 月, Online
- 28) 渡部 健, 嵯峨亜希子, 引地 悠, 嵯峨知生, 植木重治 (2022) 大学病院における「職員・学生コロナ検査外来」開設から運用までの取り組み. 第 13 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 6 月, 神奈川
- (b) 地方会
- 1) 植木重治 (2022) 好酸球の一生と疾患 (教育講演). 第 3 回日本アレルギー学会東北地方会, 1 月, 宮城
- 2) 植木重治 (2022) 顆粒球の細胞死と病態・検査 (教育講演). 日本臨床検査医学会 第 63 回近畿支部総会・第 65 回近畿支部例会, 3 月, 大阪
- 3) 北村俊晴, 入江康仁, 平澤暢史, 亀山孔明, 佐藤佳澄, 鈴木悠也, 奈良 佑, 前野恭平, 吉田健二, 奥山 学, 中永士師明 (2022) 治打撲一方の安全性に関する検討. 第 12 回日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部, 10 月, 山形
- 4) 北村俊晴 (2022) 「秋田県のプライマリ・ケアの輪を広げる」. 日本プライマリ・ケア連合学会秋田県支部総会, 11 月, 秋田
- 5) 高橋琴乃, 粕谷孝光, 福岡岳美, 小野 剛, 北村俊晴, 渡部 健, 松本奈津美, 植木重治 (2022) ADA 測定が診断に寄与した結核性腹膜炎の一例. 第 12 回日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部, 10 月, 山形
- 6) 畠山拓也, 鈴木悠平, 煤賀 新, 北村のり子,

- 富澤 学, 佐藤佳澄, 中永士師明 (2022) COVID-19 に cPED 療法を施行し気管挿管を回避した 1 例. 日本集中治療医学会第 6 回東北支部学術集会, 7 月, Online
- 7) 平澤暢史 (2022) 地域を支えるために秋田県全域をカバーするドクターカー (シンポジウム). 第 36 回東北救急医学会総会・学術集会, 7 月, 福島
- 8) 平澤暢史, 奥山 学, 入江康仁, 北村俊晴, 亀山孔明, 佐藤佳澄, 奈良 佑, 鈴木悠也, 前野恭平, 吉田健二, 中永士師明 (2022) Electrical Impedance Tomography (EIT) と食道内圧測定の前用が有用だった severe ARDS の 1 例. 日本集中治療医学会第 6 回東北支部学術集会, 7 月, Online
- 9) 藤岡優樹, 高橋直人, 守時由起, 植木重治 (2022) 免疫応答に着目した CML における TKI 中止後の寛解維持機構の解明とバイオマーカー探索. 第 54 回日本臨床検査医学会東北支部総会・第 33 回日本臨床化学会東北支部総会合同支部総会, 8 月, 宮城
- 10) 守時由起, 福田浩和, 加藤愛華, 岡崎三枝子, 田中郁信, 小林五十鈴, 長谷川仁志, 高橋直人, 植木重治 (2022) クリニカルセラピー 1 における基本的気道管理トレーニング. 第 20 回東北シミュレーション医学医療教育研究会大会, 11 月, 宮城
- 11) 渡部 健, 北村俊晴, 松本奈津美, 高橋琴乃, 引地 悠, 佐々木智子, 平澤暢史, 入江康仁, 嵯峨亜希子, 植木重治 (2022) Advance care planning における介護支援専門員と医師の協働—セミナー講師として介護支援専門員と関わった経験から. 第 12 回日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部, 10 月, 山形
- 12) 渡部 健, 北村俊晴, 松本奈津美, 高橋琴乃, 引地 悠, 佐々木智子, 平澤暢史, 入江康仁, 嵯峨亜希子, 植木重治 (2022) 地域住民の Advance care planning において医師が多職種連携の面で意識すべきこと. 第 86 回秋田県医学会総会・秋田県医師会創立記念医学大会, 11 月, 秋田
- 13) 渡部 健, 山内久美子, 引地 悠, 嵯峨亜希子, 藤岡優樹, 嵯峨知生, 守時由起, 植木重治 (2022) 好酸球の分葉の意義に関する基礎的検討. 第 54 回日本臨床検査医学会東北支部総会 第 33 回日本臨床化学会東北支部総会 合同支部総会, 8 月, 宮城
- (c) 研究会
- (i) 全国規模
- 1) 伊東慶介, 宮部 結, 有馬実咲, 富澤宏基, 嵯峨亜希子, 守時由起, 矢野道広, 高橋 勉, 植木重治 (2022) 慢性肉芽腫症由来の好中球・好酸球の ETosis の差異. アレルギー好酸球研究会 2022, 11 月, Online
- 2) 植木重治 (2022) 好酸球を理解して重症喘息・好酸球性炎症をみなおす. 第 29 回バイオフィオロジー研究会, 2 月, Online
- 3) 植木重治 (2022) 難治性喘息と好酸球性炎症疾患, つまるところ好酸球?. Eosinophil Research Conference, 3 月, Online
- 4) 植木重治 (2022) 個と集団からみた好酸球のエフェクター機能. AIR WAY ONLINE, 7 月, Online
- 5) 植木重治 (2022) 好酸球の細胞外トラップ・崩壊型脱顆粒をとらえる. 第 26 回那須ティーチン, 7 月, 東京
- 6) 佐々木寿, 宮田 純, 松山笑子, 砂田啓英也, 奥隅真一, 持丸貴生, 正木克宜, 加畑宏樹, 川名明彦, 植木重治, 浅野浩一郎, 福永興彦 (2022) アスペルギルス抽出物によるヒト好酸球の活性化機序に関する検討. アレルギー好酸球研究会 2022, 11 月, Online
- 7) 佐藤貴彦, 千葉貴人, 中原剛士, 植木重治, 渡部 健, 河野通浩 (2022) 水泡性類天疱瘡における好酸球由来ガレクチン-10 の MMP 産生への関与. アレルギー好酸球研究会 2022, 11 月, Online
- (ii) 地方規模
- 1) 有馬実咲, 丸山彩乃, 峠岡理沙, 福地峰世, 今野泰典, 植木重治 (2022) 蕁麻疹を伴った繊維素性唾液管炎の一例. 第 56 回東北アレルギー懇話会, 6 月, Online
- 2) 植木重治 (2022) 総合診療と喘息・スポーツ. 第 29 回秋田県スポーツ医学研究会, 2 月, Online
- 3) 植木重治 (2022) 地域に潜む好酸球性疾患. パートナリングの会 in 男鹿湯上南秋, 3 月, 秋田
- 4) 植木重治 (2022) 地域に潜む好酸球性疾患. 喘息診療医療連携 (パートナリングの会) in

(238)

中央診療施設等 総合診療医センター

- 由利本荘, 3月, 秋田
- 5) 植木重治 (2022) 秋田の「総合診療」の境界と今後. 第51回市立病院地域医療連携の会, 12月, Online
 - 6) 北村俊晴 (2022) アドバンス・ケア・プランニングと多職種連携. 第3回多職種連携研修会 多職種連携で実践するACP支援～総合診療医と考える. 職種理解からはじまる多職種連携～, 11月, 秋田
 - 7) 佐藤佳澄 (2022) 命に関わるアレルギー アナフィラキシーへの対応. 第28回日本アレルギー協会東北支部 秋田アレルギー市民公開講座, 3月, Online
 - 8) 渡部 健 (2022) ACP基本の「き」—地域でもっと輝くケアマネジャーに. 令和4年度秋田市中心圏地域包括支援センター・介護支援専門員合同研修会, 9月, Online

そ の 他

【刊行物】

- 1) 植木重治 (2022) 新任教授紹介. 秋田医報 **1596**, 98-99.
- 2) 植木重治 (2022) 秋田大学4学部によるSDGsへの取り組み. 医療の地域連携と格差の解消～大学をハブとした総合診療医育成～. 秋田大学広報誌 *Aprire* **75**, 12.
- 3) 漆畑宗介 (2022) 各学部による人材育成の現状と展望～卒業生からのメッセージ～. 秋田大学広報誌 *Aprire* **74**, 12.
- 4) 漆畑宗介, 密山要用 (2022) 新年特別企画 座談会 まちを元気にするために—コミュニティナースの活動に学ぶ. 医療福祉生協情報誌 *comcom* **653** (1月号)
- 5) 渡部 健 (2022) 5. 医療の確保「地域医療・総合診療連携講座開設」. 広報おが(4月号), 4.
- 6) 渡部 健 (2022) 医学部による地方創生への取り組み. 男鹿から始まる新しい医療のカタチ～地域とともに育つ総合診療医～. *Aprire* **76**, 13.

【講演】

- 1) 入江康仁 (2022) 創傷治療～湿潤療法の本質について～. 秋田大学医学部附属病院としておきカンファレンススピノフ, 手技・創傷処置セミナー. 1月, 秋田
- 2) 入江康仁 (2022) 初回MRIで指摘できなかった脳梗塞症例 (講義). 秋田大学医学部附属病院としておきカンファレンス指導医レクチャー, 7月, Online
- 3) 入江康仁 (2022) 腹部エコー手技の実際 (ハンズオン). 秋田大学医学部附属病院としておきカンファレンス指導医レクチャー, 11月, 秋田
- 4) 植木重治 (2022) 感染症とたたかう前線から. 山形県立酒田東高等学校1・2年次合同大学出前講義, 9月, Online
- 5) 漆畑宗介 (2022) これからの地域医療と介護予防. 八郎瀉介護予防大学, 2月, 秋田
- 6) 漆畑宗介 (2022) 訪問診療オンライン体験「在宅医療の見方」. 秋田県地域医療・総合診療実習, 3月, Online
- 7) 漆畑宗介 (2022) 「地域医療について」. 五城目町やまゆり読書会, 6月, 秋田
- 8) 北村俊晴 (2022) めまい. 第5回市立角館総合病院総合診療生涯教育, 1月, 秋田
- 9) 北村俊晴 (2022) メンタルヘルスのプライマリ・ケア～うつ病の患者さんのケアをよりよくするために. 第6回市立角館総合病院総合診療生涯教育, 3月, 秋田
- 10) 北村俊晴 (2022) 診療情報共有. 第7回市立角館総合病院総合診療生涯教育, 5月, 秋田
- 11) 北村俊晴 (2022) 救急・総合診療で身につけたいエコー. 第8回市立角館総合病院総合診療生涯教育, 7月, 秋田
- 12) 北村俊晴 (2022) 漢方薬での対処方法を学ぶ. 第9回市立角館総合病院総合診療生涯教育, 12月, 秋田
- 13) 佐藤佳澄 (2022) 風邪を診察したら気をつけること. 秋田大学医学部附属病院としておきカンファレンス指導医レクチャー, 1月, 秋田
- 14) 佐藤佳澄 (2022) 腹痛. 秋田大学医学部附属病院としておきカンファレンス指導医レクチャー, 6月, 秋田
- 15) 高橋琴乃, 松本奈津美 (2022) ガイドラインが教えてくれないマルモのみかた. 秋田県地域医療・総合診療実習, 3月, Online
- 16) 渡部 健 (2022) 知っててよかった! ポス・マネジメント. 冬セミスペシャル～コミュニティホスピタルでコロナ病棟診療を始めると

- き～. 日本プライマリ・ケア連合学会 第 17 回若手医師のための家庭医療学冬季セミナー, 2 月, Online
- 17) 渡部 健 (2022) おなかが痛くなる外来診療. 秋田大学医学部附属病院とっておきカンファレンス指導医レクチャー, 2 月, 秋田
- 18) 渡部 健 (2022) 秋田大学医学部附属病院とっておきカンファレンス指導医レクチャー, 8 月, 秋田
- 【メディア】**
- 1) 植木重治 (2022) 医療監修「はたらく細胞」から学ぶ体の仕組み. 日本テレビ「世界一受けたい授業」, 5 月
- 2) 植木重治 (2022) 秋田のアレルギー患者さんへ, 専門医から伝えたいこと. AKT 秋田テレビ「あきたメディカル通信」, 8 月

Akita J Med 50 (Suppl) : 241~251, 2023

中央診療施設等

腎疾患先端医療センター

センター長	羽	潤	友	則 (腎泌尿器科学講座 教授)
副センター長	齋	藤	満	(血液浄化療法部 准教授)
特別教授	佐	藤	滋	(~3月)
講師	藤	山	信	弘 (臨床研究支援センター, 移植検査センター 副センター長)
技術補佐員	淀	川	恵	

著 書

- 1) 佐藤 滋 (2022) (分担執筆) 泌尿器科的治療. 腎・尿路の疾患 内科学第12版 (総編) 矢崎義雄, 小室一成 (編) 南学正臣, 朝倉書店, 東京, pp. IV 52-54.
- 2) 佐藤 滋 (2022) (分担執筆) 腎移植患者のケア. 泌尿器科疾患 今日の治療指針—私はこう治療している—2022 (総編) 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 (編) 堀江重郎, 医学書院, 東京, pp. 1257-11258.
- 3) 佐藤 滋 (2022) (策定委員長) 日下 守, 赤松延久, 伊藤泰平, 今留謙一, 上田佳秀, 上野豪久, 大澤良介, 後藤憲彦, 齋藤和英, 齋藤 満, 錫谷達夫, 布田伸一, 三浦昌朋, 山田全毅, 芳川豊史, 江川裕人. 臓器移植関連CMV感染症診療ガイドライ2022. 日本移植学会, 臓器移植関連CMV感染症診療ガイドライン策定委員会 (編), (株) ぱーそん書房, 東京

総 説

- 1) 嘉島相輝, 三宅牧人, 井上高光, 小野澤瑞樹, 小林瑞貴, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 齋藤 満, 藤本清秀, 北村 寛, 西山博之, 羽潤友則 (2022) BCG療法の最適化・個別化—JUOG研究から—. 泌尿器外科 **3**, 668-669.

- 2) 小林瑞貴, 羽潤友則 (2022) 特集/ここまで進んだ鏡視下手術 泌尿器科領域—前立腺癌に対する腹腔鏡手術ロボット支援手術を中心に—. 臨床と研究 **99**, 49-55.
- 3) 齋藤 満 (2022) 周術期合併症の管理. 〈JOURNAL IN JOURNAL—Focus On Your Direction—〉泌尿器科専門領域の最新情報 vol. 15, 腎移植—後編—. 泌尿器 Care & Cure Uro-lo **27**, 568-574.
- 4) 佐藤 滋 (2022) 高齢者の腎移植. 腎と透析 **92** (増刊号), 688-692.
- 5) 佐藤 滋, 齋藤 満 (2022) 特集2 腎移植における血管操作 & 吻合法. 腎移植・血管外科 **32**, 14-18.
- 6) 関根悠哉, 沼倉一幸, 羽潤友則, 桃沢幸秀 (2022) 腎がんの組織型に応じた生殖細胞系列病的パリアントの特徴. 泌尿器科 **16**, 117-121.
- 7) 奈良健平, 沼倉一幸, 羽潤友則 (2022) 【内分分泌臓器・腫瘍に対するロボット支援手術の国内外の現況と展望】後腹膜・骨盤腔内の内分分泌腫瘍に対するロボット支援手術. 日本内分秘外科学会雑誌 **39**, 44-48.
- 8) 成田伸太郎, 齋藤 満, 羽潤友則 (2022) ロボット支援腎尿管全摘除術. 泌尿器外科 **35**, 954-959.
- 9) 成田伸太郎, 沼倉一幸, 齋藤 満, 羽潤友則 (2022) 当科における尿管トラブルを回避す

る術式の標準化. 泌尿器外科 **35**, 781-783.

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Akamatsu, S., Terada, N., Takata, R., Kinoshita, H., Shimatani, K., Momozawa, Y., Yamamoto, M., Tada, H., Kawamorita, N., Narita, S., Kato, T., Nitta, M., Kandori, S., Koike, Y., Inazawa, J., Kimura, T., Kimura, H., Kojima, T., Terachi, T., Sugimoto, M., Habuchi, T., Arai, Y., Yamamoto, S., Matsuda, T., Obara, W., Kamoto, T., Inoue, T., Nakagawa, H. and Ogawa, O. (2022) Clinical Utility of Germline Genetic Testing in Japanese Men Undergoing Prostate Biopsy. *JNCI. Cancer Spectr.*, **6**, pkac001.
- 2) Furukawa, J., Hinata, N., Teisima, J., Takenaka, A., Shiroki, R., Kobayashi, Y., Kanayama, H.O., Hattori, K., Horie, S., Tozawa, K., Kato, M., Ohyamam C., Habuchi, T., Kawamorita, N., Eto, M. and Fujisawa, M. (2022) Robot-assisted partial nephrectomy with minimum follow-up of 5 years : A multi-center prospective study in Japan. *Int. J. Urol.*, **29**, 1038-1045.
- 3) Inoue, T., Miyake, M., Nishimura, N., Onozawa, M., Kashima, S., Numakura, K., Narita, S., Iida, K., Uemura, M., Matsushita, Y., Inokuchi, J., Matsui, Y., Taoka, R., Kojima, T., Kobayashi, T., Nishiyama, N., Kitamura, H., Nishiyama, H., Fujimoto, K. and Habuchi, T. (2022) Association of increased age with decreased response to intravesical instillation of bacille calmette-guérin in patients with high-risk non-muscle invasive bladder cancer : retrospective multi-institute results from the Japanese urological oncology research group JUOG-UC-1901-BCG. *Urology*, **167**, 158-164.
- 4) Iwamura, H., Mizuno, K., Akamatsu, S., Hatakeyama, S., Tobisawa, Y., Narita, S., Narita, T., Yamashita, S., Kawamura, S., Sakurai, T., Fujita, N., Kodama, H., Noro, D., Kakizaki, I., Nakaji, S., Itoh, K., Tsuchiya, N., Ito, A., Habuchi, T., Ohyama, C. and Yoneyama, T. (2022) Machine learning diagnosis by immunoglobulin N-glycan signatures for precision diagnosis of urological diseases. *Cancer Sci.*, **113**, 2434-2445.
- 5) Kanda, S., Inoue, T., Nakajima, S., Sagehashi, R., Nara, T., Numakura, K., Saito, M., Narita, S., Tsuchiya, N. and Habuchi, T. (2022) Comparison of parenchymal volume loss assessed by three-dimensional computed tomography volumetry and renal functional recovery between conventional and robot-assisted laparoscopic partial nephrectomy. *Asian J. Endosc. Surg.*, **15**, 63-69.
- 6) Kato, R., Naito, S., Numakura, K., Hatakeyama, S., Koguchi, T., Kojima, T., Kawasaki, Y., Kandori, S., Kawamura, S., Arai, Y., Ito, A., Nishiyama, H., Kojima, Y., Ohyama, C., Habuchi, T., Tsuchiya, N. and Obara, W. (2022) Significance of upfront cytoreductive nephrectomy stratified by IMDC risk for metastatic renal cell carcinoma in targeted therapy era — a multi-institutional retrospective study. *Int. J. Clin. Oncol.*, **27**, 563-573.
- 7) Kimura, H., Mizuno, K., Shiota, M., Narita, S., Terada, N., Fujimoto, N., Ogura, K., Hatano, S., Iwasaki, Y., Hakozaki, N., Ishitoya, S., Sumiyoshi, T., Goto, T., Kobayashi, T., Nakagawa, H., Kamoto, T., Eto, M., Habuchi, T., Ogawa, O., Momozawa, Y. and Akamatsu, S. (2022) Prognostic significance of pathogenic variants in BRCA1, BRCA2, ATM and PALB2 genes in men undergoing hormonal therapy for advanced prostate cancer. *Br. J. Cancer*, **127**, 1680-1690.
- 8) Kobayashi, M., Fujiyama, N., Tanegashima, T., Narita, S., Yamamoto, Y., Fujimoto, N., Ueda, S., Takeuchi, A., Numakura, K., Habuchi, T., Matsuyama, H., Eto, M. and Shiota, M. (2022) Effect of HLA genotype on intravesical recurrence after bacillus Calmette-Guérin therapy for non-muscle-invasive bladder cancer. *Cancer Immunol. Immunother.*, **71**, 727-736.
- 9) Kobayashi, M., Narita, S., Matsui, Y., Kanda, S., Hidaka, Y., Abe, H., Tsuzuki, T., Ito, K., Kojima, T., Kato, M., Hatakeyama, S., Matsushita, Y., Naito, S., Shiga, M., Miyake, M., Muro, Y., Nakanishi, S., Kato, Y., Shibuya, T., Hayashi, T., Yasumoto, H., Yoshida, T., Uemura, M., Taoka, R., Kamiyama, M., Morita, S., Habuchi, T., Ogawa, O., Nishiyama, H., Kitamura, H. and Kobayashi,

- T. (2022) Impact of histological variants on outcomes in patients with urothelial carcinoma treated with pembrolizumab : a propensity score matching analysis. *BJU. Int.*, **130**, 226-234.
- 10) Kobayashi, M., Numakura, K., Hatakeyama, S., Muto, Y., Sekine, Y., Sasagawa, H., Kashima, S., Yamamoto, R., Koizumi, A., Nara, T., Saito, M., Narita, S., Ohyama, C. and Habuchi, T. (2022) Severe immune-related adverse events in patients treated with nivolumab for metastatic renal cell carcinoma are associated with PDCD1 polymorphism. *Genes (Basel)*, **13**, 1204.
- 11) Lee, Y.H., Sato, Y., Saito, M., Fukuma, S., Saito, M., Yamamoto, S., Komatsuda, A., Fujiyama, N., Satoh, S., Lee, S.H., Boor, P., Habuchi, T., Floege, J. and Yanagita, M. (2022) Advanced tertiary lymphoid tissues in protocol biopsies are associated with progressive graft dysfunction in kidney transplant recipients. *J. Am. Soc. Nephrol.*, **33**, 186-200.
- 12) Miura, Y., Hatakeyama, S., Narita, S., Kimura, T., Hata, K., Yanagisawa, T., Tanaka, T., Ishi, N., Kawamura, S., Hoshi, S., Ishidoya, S., Mitsuzuka, K., Ito, A., Tsuchiya, N., Egawa, S., Habuchi, T. and Ohyama, C. (2022) Effect of upfront intensive therapy on oncological outcomes in older patients with high tumor burden metastatic castration-sensitive prostate cancer : A multicenter retrospective study. *Prostate*, **82**, 1304-1312.
- 13) Morozumi, K., Mitsuzuka, K., Narita, S., Takahashi, M., Kawamura, S., Tochigi, T., Arai, Y., Hoshi, S., Shimoda, J., Ishidoya, S., Okamoto, T., Hatakeyama, S., Sakurai, T., Tsuchiya, N., Ohyama, C., Habuchi, T. and Ito, A. (2022) Impact of Gleason pattern 5 on prognosis for newly diagnosed metastatic hormone-sensitive prostate cancer with Gleason score ≥ 8 . *Int. J. Urol.*, **29**, 324-331.
- 14) Narita, S., Hatakeyama, S., Sakamoto, S., Kato, T., Inokuchi, J., Matsui, Y., Kitamura, H., Nishiyama, H. and Habuchi, T. (2022) Management of prostate cancer in older patients. *Jpn. J. Clin. Oncol.*, **52**, 513-525.
- 15) Narita, S., Kimura, T., Hatakeyama, S., Hata, K., Yanagisawa, T., Maita, S., Chiba, S., Sato, H., Kashima, S., Koizumi, A., Yamamoto, R., Takayama, K., Okane, K., Ishida, T., Horikawa, Y., Kumazawa, T., Shimoda, J., Suzuki, T., Ohyama, C., Egawa, S. and Habuchi, T. (2022) Real-world outcomes and risk stratification in patients with metastatic castration-sensitive prostate cancer treated with upfront abiraterone acetate and docetaxel. *Int. J. Clin. Oncol.*, **27**, 1477-1486.
- 16) Narita, S., Kimura, T., Hatakeyama, S., Hata, K., Yanagisawa, T., Maita, S., Chiba, S., Sato, H., Kashima, S., Koizumi, A., Yamamoto, R., Takayama, K., Okane, K., Ishida, T., Horikawa, Y., Kumazawa, T., Shimoda, J., Suzuki, T., Ohyama, C., Egawa, S., Nomura, K. and Habuchi, T. (2022) Real-world survival outcomes of adding docetaxel or abiraterone in patients with high-volume metastatic castration-sensitive prostate cancer : historically controlled, propensity score matched comparison with androgen deprivation therapy. *World J. Urol.*, **40**, 1135-1141.
- 17) Narita, S., Terada, N., Nomura, K., Sakamoto, S., Hatakeyama, S., Kato, T., Matsui, Y., Inokuchi, J., Yokomizo, A., Tabata, K.I., Shiota, M., Kimura, T., Kojima, T., Inoue, T., Mizowaki, T., Sugimoto, M., Kitamura, H., Kamoto, T., Nishiyama, H. and Habuchi, T. (2022) Cancer-specific and net overall survival in older patients with de novo metastatic prostate cancer initially treated with androgen deprivation therapy. *Int. J. Urol.*, **29**, 1147-1154.
- 18) Numakura, K., Kobayashi, M., Ishida, T., Okane, K., Suzuki, K., Shimoda, N., Suzuki, T., Kumazawa, T., Sasaki, R., Fukuda, H., Kashima, S., Yamamoto, R., Koizumi, A., Nara, T., Kanda, S., Huang, M., Saito, M., Narita, S., Inoue, T., Tsuchiya, N. and Habuchi, T. (2022) Effect of levofloxacin on the efficacy and adverse events in intravesical bacillus calmette-guerin treatment for bladder cancer : results of a randomized, prospective, multicenter study. *Eur. Urol. Focus*, **8**, 1666-1672.
- 19) Numakura, K., Kobayashi, M., Koizumi, A., Kashima, S., Yamamoto, R., Nara, T., Saito, M.,

- Narita, S., Inoue, T. and Habuchi, T. (2022) Factors influencing warm ischemia time in robot-assisted partial nephrectomy change depending on the surgeon's experience. *World J. Surg. Oncol.*, **20**, 202.
- 20) Sasaki, Y., Kashima S., Koyama T., Hiroshima, Y., Amano, K., Takahashi, S., Nara, T., Koizumi, A., Yamamoto, R., Numakura, K., Saito., Narita, S., Nanjo, H., Satoh, S. and Habuchi, T. (2022) [A Case of Renal Anastomosing Hemangioma]. *Hinyokika Kyo*, **68**, 265-269.
- 21) Sato, H., Narita, S., Ishida, M., Takahashi, Y., Mingguo, H., Kashima, S., Yamamoto, R., Koizumi, A., Nara, T., Numakura, K., Saito, M., Yoshio-ka, T. and Habuchi, T. (2022) Specific gut microbial environment in lard diet-induced prostate cancer development and progression. *Int. J. Mol. Sci.*, **23**, 2214.
- 22) Sekine, Y., Iwasaki, Y., Aoi, T., Endo, M., Hirata, M., Kamatani, Y., Matsuda, K., Sugano, K., Yoshida, T., Murakami, Y., Fukui, T., Akamatsu, S., Ogawa, O., Nakagawa, H., Numakura, K., Narita, S., Habuchi, T. and Momozawa, Y. (2022) Different risk genes contribute to clear cell and non-clear cell renal cell carcinoma in 1532 Japanese patients and 5996 controls. *Hum. Mol. Genet.*, **31**, 1962-1969.
- 23) Sekine, Y., Iwasaki, Y., Hakozaiki, N., Endo, M., Kamatani, Y., Matsuda, K., Murakami, Y., Sano, T., Akamatsu, S., Kobayashi, T., Nakagawa, H., Numakura, K., Narita, S., Habuchi, T. and Momozawa, Y. (2022) Prevalence and risk estimation of cancer-predisposing genes for upper urinary tract urothelial carcinoma in Japanese. *Jpn J. Clin. Oncol.*, **52**, 1441-1445.
- 24) Takahashi, S., Narita, S., Fujiyama, N., Hatakeyama, S., Kobayashi, T., Kato, R., Naito, S., Sakatani, T., Kashima, S., Koizumi, A., Yamamoto, R., Nara, T., Kanda, S., Numakura, K., Saito, M., Obara, W., Tsuchiya, N., Ohyama, C., Ogawa, O. and Habuchi, T. (2022) Impact of germline HLA genotypes on clinical outcomes in patients with urothelial cancer treated with pembrolizumab. *Cancer Sci.*, **113**, 4059-4069.
- 25) Takayama, K., Numakura, K., Igarashi, R. and Habuchi, T. (2022) Complete remission of brain metastases in renal cell carcinoma treated with axitinib after failure with nivolumab and ipilimumab treatment. *IJU Case Rep.*, **5**, 517-520.
- 26) Yagishita, H., Kagaya, H., Saito, M., Numakura, K., Yamamoto, R., Sagehashi, R., Habuchi, T., Satoh, S. and Miura, M. (2022) Effects of NR1/2 and ABCB1 genetic polymorphisms on everolimus pharmacokinetics in Japanese renal transplant patients. *Int. J. Mol. Sci.*, **23**, 11742.
- 27) Yanagisawa, T., Kimura, T., Hata, K., Narita, S., Hatakeyama, S., Enei, Y., Atsuta, M., Mori, K., Obayashi, K., Yoshihara, K., Kondo, Y., Oguchi, T., Sadakane, I., Habuchi, T., Ohyama, C., Shariat, S.F. and Egawa, S. (2022) Does castration status affect docetaxel-related adverse events? Identification of risk factors for docetaxel-related adverse events in metastatic prostate cancer. *Prostate*, **82**, 1322-1330.
- 28) Yanagisawa, T., Kimura, T., Hata, K., Narita, S., Hatakeyama, S., Mori, K., Sano, T., Otsuka, T., Iwamoto, Y., Enei, Y., Nakazono, M., Sakanaka, K., Iwatani, K., Matsukawa, A., Atsuta, M., Nishikawa, H., Tsuzuki, S., Miki, J., Habuchi, T., Ohyama, C., Shariat, S.F. and Egawa, S. (2022) Combination of docetaxel versus nonsteroidal antiandrogen with androgen deprivation therapy for high-volume metastatic hormone-sensitive prostate cancer: a propensity score-matched analysis. *World J. Urol.*, **10**, 1007.
- 29) 青山 有, 齋藤 満, 齋藤拓郎, 提箸隆一郎, 山本竜平, 嘉島相輝, 小泉 淳, 奈良健平, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 佐藤 滋, 羽瀨友則 (2022) レムデシビルが奏功した生体腎移植後患者における COVID-19 の 1 例. 秋田腎不全研究会誌 **25**, 119-124.
- 30) 小林瑞貴, 沼倉一幸, 畠山真吾, 嘉島相輝, 山本竜平, 小泉 淳, 奈良健平, 齋藤 満, 成田伸太郎, 大山 力, 羽瀨友則 (2022) PD-1 の遺伝子多型とニボルマブの臨床結果との関連. 日本腎泌尿器疾患予防医学研究会誌 **30**, 60-62.
- 31) 齋藤 満, 成田伸太郎, 沼倉一幸, 嘉島相輝, 山本竜平, 小泉 淳, 奈良健平, 羽瀨友則 (2022) 上部尿路上皮癌に対するロボット支

援腹腔鏡下腎尿管全摘除術の経験. *Jpn. J. Endourol.*, **3**, 318-322.

- 32) 瀬田川美香, 齋藤 満, 藤山信弘, 山本竜平, 佐藤 滋, 羽瀨友則 (2022) 秋田大学医学部附属病院における生体人移植希望者が腎移植に至らなかった理由の検討. 秋田腎不全研究会誌 **25**, 81-86.
- 33) 山本竜平, 齋藤 満, 藤山信弘, 青山 有, 提箸隆一郎, 齋藤拓郎, 嘉島相輝, 小泉 淳, 奈良健平, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 佐藤 滋, 羽瀨友則 (2022) 術前肥満が腎移植後のアウトカムに与える影響についての検討. 秋田腎不全研究会誌 **25**, 125-131.

B. 審査を経ない論文

- 1) 奈良健平, 沼倉一幸, 羽瀨友則 (2022) 後腹膜・骨盤腔内の内分泌腫瘍に対するロボット支援手術. 内分泌外会誌 **39**, 44-48.

学 会 発 表

A. 国際会議

- 1) Fujiyama, N., Saito, M., Yamamoto, Y., Sagehashi, R., Saito, T., Aoyama, Y., Numakura, K., Narita, S. and Habuchi, T. (2022) Effect of tacrolimus trough level on de novo donor-specific antibody production in long-term renal transplant patients. TSS Asian Regional Meeting 2022, Nov., Osaka
- 2) Fujiyama, N., Saito, M., Yamamoto, R., Sagehashi, R., Saito, T., Kashima, S., Numakura, K., Narita, S., Habuchi, T. and Satoh, S. (2022) Association between de novo donor specific antibody and tacrolimus trough levels in long-term follow-up renal transplantation. American Transplant Congress 2022, Jun., Boston
- 3) Habuchi, T. (2022) Troubleshooting in robotic partial nephrectomy — Difficult conditions and management —. The Hong Kong Congress of Endourology, Aug., Hong Kong
- 4) Narita, S., Yamamoto, R., Koizumi, A., Nara, T., Numakura, K., Saito, M. and Habuchi, T. (2022) Standardization of the technique for robot-assisted radical cystectomy to minimize the risk of uretero-enteric strictures in patients with muscle-invasive bladder cancer. Asian-Pacific Con-

gress of Robotic Laparoscopic Surgery 2022, Dec., Nagoya

- 5) Numakura, K., Hatakeyama, S., Sekine, Y., Muto, Y., Kobayashi, M., Kashima, S., Yamamoto, R., Koizumi, A., Nara, T., Saito, M., Narita, S., Ohyama, C. and Habuchi, T. (2022) Immune-related adverse events associated with better survival outcomes for metastatic renal cell carcinoma treated with nivolumab plus ipilimumab. The 117th The American Urological Association Annual Meeting, May, New Orleans
- 6) Numakura, K., Kashima, S., Yamamoto, R., Koizumi, A., Nara, T., Saito, M., Narita, S. and Habuchi, T. (2022) Large central tumor requires longer warm ischemia time in robot-assisted laparoscopic partial nephrectomies. Asian-Pacific Congress of Robotic Laparoscopic Surgery 2022, Dec., Nagoya
- 7) Numakura, K., Kobayashi, M., Sekine, Y., Kashima, S., Yamamoto, R., Koizumi, A., Nara, T., Saito, M., Narita, S. and Habuchi, T. (2022) Factors Influencing Warm Ischemia Time in Robot-assisted Partial Nephrectomy Change Depending on the Surgeon's Experience. The 39th World Congress of Endourology and Uro-Technology, Sep., San Diego
- 8) Numakura, K., Miyake, M., Sekine, Y., Muto, M., Kobayashi, M., Taoka, R., Kobayashi, T., Kojima, T., Kitamura, H., Nishiyama, H., Fujimoto, K. and Habuchi, T. (2022) Risk factors of subsequent upper urinary tract carcinoma treated with intravesical bacillus Calmette-Guerin therapy for non-muscle-invasive bladder cancer: from multiple Japanese hospitals. The 117th The American Urological Association Annual Meeting, May, New Orleans
- 9) Numakura, K., Sekine, Y., Muto, Y., Kobayashi, M., Kashima, S., Yamamoto, R., Koizumi, A., Nara, T., Saito, M., Narita, S. and Habuchi, T. (2022) Cortisol regulates adrenaline synthesis via phenylethanolamine N-methyltransferase in surgical specimens of pheochromocytoma. The 37th Annual European Association of Urology Congress, Mar., Amsterdam
- 10) Numakura, K., Sekine, Y., Muto, Y., Kobayashi,

- M., Kashima, S., Yamamoto, R., Koizumi, A., Nara, T., Saito, M., Narita, S. and Habuchi, T. (2022) Cortisol regulates adrenaline synthesis via phenylethanolamine N-methyltransferase in surgical specimens of pheochromocytoma. The 117th The American Urological Association Annual Meeting, May, New Orleans
- 11) Sagehashi, R., Saito, M., Aoyama, Y., Yamamoto, R., Fujiyama, N., Kagaya, K., Kobayashi, M., Kashima, S., Nara, T., Numakura, K., Narita, S. and Habuchi, T. (2022) Comparisons of clinical outcomes among young, middle, and elderly kidney transplant recipients: Pharmacological analyses of immunosuppressants. Transplantation Science Symposium Asian Regional Meeting 2022, Nov., Kyoto
- 12) Saito, M., Lee, Y.H., Sato, Y., Fujiyama, N., Narita, S., Satoh, S., Yanagita, M. and Habuchi, T. (2022) Advanced tertiary lymphoid tissues are associated with progressive graft dysfunction in kidney transplant recipients. The 117th The American Urological Association Annual Meeting, May, New Orleans
- 13) Sato, H., Narita, S., Takahashi, Y., Ishida, M., Kashima, S., Yamamoto, R., Koizumi, A., Nara, T., Huang, M., Numakura, K., Saito, M., Dohmae, N. and Habuchi, T. (2022) Upregulation of cellular retinoic acid-binding protein 2 (CRABP2) enhances saturated fatty acid-accelerated prostate cancer progression. The 37th Annual European Association of Urology Congress, Mar., Amsterdam
- 14) Sato, H., Narita, S., Takahashi, Y., Ishida, M., Kashima, S., Yamamoto, R., Koizumi, A., Nara, T., Huang, M., Numakura, K., Saito, M., Yoshioka, T. and Habuchi, T. (2022) Saturated fatty acid promotes prostate cancer development with tumor infiltrating regulatory T cell alteration in a Pten-deficient mouse model. The 117th The American Urological Association Annual Meeting, May, New Orleans
- 15) Takahashi, Y., Narita, S., Shiota, M., Miura, M., Eto, M., Kashima, S., Koizumi, K., Yamamoto, R., Nara, T., Huang, M., Numakura, K., Saito, M. and Habuchi, T. (2022) Impact of trough concentrations of abiraterone and D4A on the clinical outcomes of patients with metastatic castration-sensitive and castration-resistant prostate cancer. The 117th The American Urological Association Annual Meeting, May, New Orleans
- 16) Takahashi, Y., Narita, S., Shiota, M., Miura, M., Kagaya, H., Kashima, S., Yamamoto, R., Nara, T., Huang, M., Numakura, K., Saito, M., Eto, M. and Habuchi, T. (2022) The impact of pharmacogenomic features on adverse events in patients with prostate cancer treated with abiraterone acetate. The 38th Korea-Japan Urological Congress (KJUC), Nov., Busan
- 17) Yamamoto, R., Saito, M., Aoyama, Y., Sagehashi, R., Saito, T., Kashima, S., Koizumi, A., Nara, T., Numakura, K., Narita, S., Satoh, S. and Habuchi, T. (2022) Protective Effects of Regulatory T cells in Renal Ischemia/Reperfusion Injury in Mice. The 37th Annual European Association of Urology Congress, Mar., Amsterdam
- 18) Yamamoto, R., Saito, M., Aoyama, Y., Sagehashi, R., Saito, T., Kashima, S., Koizumi, A., Nara, T., Numakura, K., Narita, S., Satoh, S. and Habuchi, T. (2022) Effectiveness of CT volumetry in evaluating living-donor renal function. Transplantation Science Symposium Asian Regional Meeting 2022, Nov., Kyoto
- 19) Yamamoto, R., Saito, M., Aoyama, Y., Sagehashi, R., Saito, T., Kashima, S., Koizumi, A., Nara, T., Numakura, K., Narita, S., Satoh, S. and Habuchi, T. (2022) Efficacy and safety of early everolimus immunosuppressive protocol in kidney transplant recipients. Transplantation Science Symposium Asian Regional Meeting 2022, Nov., Kyoto

B. 国内会議

(a) 総会・年会

- 1) 青山 有, 齋藤 満, 齋藤拓郎, 提箸隆一郎, 山本竜平, 藤山信弘, 嘉島相輝, 小泉 淳, 奈良健平, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 佐藤 滋, 羽瀨友則 (2022) レムデシビルが奏功した生体腎移植後患者における COVID-19 の一例. 第 55 回日本臨床腎移植学会, 2 月, 東京
- 2) 青山 有, 沼倉一幸, 嘉島相輝, 山本竜平, 奈良健平, 齋藤 満, 成田伸太郎, 羽瀨友則

- (2022) 秋田大学における副腎癌 12 例の検討. 第 34 回日本内分泌外科学会総会, 6 月, 松本
- 3) 石田雅宜, 奈良健平, 小林瑞貴, 嘉島相輝, 山本竜平, 沼倉一幸, 齋藤 満, 成田伸太郎, 羽瀨友則 (2022) 当院におけるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術後の膀胱一尿道吻合部狭窄の検討. 第 36 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会, 11 月, 神戸
- 4) Ishida, M., Narita, S., Kobayashi, M., Yamamoto, R., Nara, T., Numakura, K., Saito, M. and Habuchi, T. (2022) Health-related quality of life in Japanese patients with metastatic castration-sensitive prostate cancer treated with upfront intensified therapies or androgen deprivation therapy alone. 第 60 回日本癌治療学会学術集会, 10 月, 神戸
- 5) 石田雅宜, 成田伸太郎, 小林瑞貴, 山本竜平, 奈良健平, 沼倉一幸, 齋藤 満, 羽瀨友則 (2022) 当院泌尿器科で遺伝子パネル検査を施行した前立腺癌症例の検討. 第 37 回前立腺シンポジウム, 12 月, 東京
- 6) 小林瑞貴, 大森泰文, 沼倉一幸, 関根悠哉, 武藤弓奈, 成田伸太郎, 羽瀨友則 (2022) 細胞質内におけるコネキシン 43 の発現が腎細胞癌の予後に与える影響. 第 81 回日本癌学会学術総会, 9 月, 横浜
- 7) 齋藤 満 (2022) 腎移植術前脱感作療法としての IVIg—効果を高めるための工夫— (ランチョンセミナー). 第 58 回日本移植学会総会, 10 月, 名古屋
- 8) 齋藤 満, 佐藤 滋, 藤山信弘, 青山 有, 提箸隆一郎, 齋藤拓郎, 山本竜平, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 羽瀨友則 (2022) mTOR 阻害薬を含む免疫抑制プロトコール—見えてきた効果と課題— (シンポジウム). 第 55 回日本臨床腎移植学会, 2 月, Online
- 9) 齋藤 満, 佐藤 滋, 藤山信弘, 山本竜平, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 羽瀨友則 (2022) 遺伝子多型に基づくタクロリムスの個別初期投与設計と血中濃度管理. 第 55 回日本臨床腎移植学会, 2 月, Online
- 10) 齋藤 満, 羽瀨友則, 佐藤 滋, 藤山信弘, 提箸隆一郎, 齋藤拓郎, 山本竜平, 奈良健平, 沼倉一幸, 成田伸太郎 (2022) 腎移植におけるウイルス感染症の up date (CMV, EBV, BKPyV) (シンポジウム). 第 67 回日本透析医学会学術集会・総会, 7 月, 横浜
- 11) 齋藤 満, 成田伸太郎, 沼倉一幸, 羽瀨友則 (2022) ドナー腎採取と Endourology: どう生かし, どう生かされるか (シンポジウム). 第 36 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会, 11 月, 神戸
- 12) 佐藤博美, 成田伸太郎, 木村高弘, 島山真吾, 島 憲一, 柳澤孝文, 米田真也, 千葉修治, 嘉島相輝, 小泉 淳, 山本竜平, 高山孝一朗, 岡根克巳, 石田俊哉, 堀川洋平, 熊澤光明, 下田次郎, 鈴木丈博, 大山 力, 颯川 晋, 羽瀨友則 (2022) 本邦における転移性去勢感受性前立腺癌患者に対する up-front 治療の有用性. 第 60 回日本癌治療学会学術集会, 10 月, 神戸
- 13) 佐藤博美, 成田伸太郎, 小林瑞貴, 嘉島相輝, 山本竜平, 奈良健平, 沼倉一幸, 齋藤 満, 羽瀨友則 (2022) 当院のロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術における Trifecta 達成に関連する因子の検討. 第 36 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会, 11 月, 神戸
- 14) Sato, H., Narita, S., Takahashi, Y., Ishida, M., Kashima, S., Yamamoto, R., Koizumi, A., Nara, T., Huang, M., Numakura, K., Saito, M., Yoshioka, T. and Habuchi, T. (2022) Specific gut microbial environment in lard diet-induced prostate cancer development and progression. 第 81 回日本癌学会学術総会, 9 月, 横浜
- 15) 提箸隆一郎, 齋藤 満, 青山 有, 齋藤拓郎, 山本竜平, 藤山信弘, 嘉島相輝, 小泉 淳, 奈良健平, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 佐藤 滋, 羽瀨友則 (2022) 新鮮凍結血漿の血液型による血漿交換の有害事象発生への影響. 第 55 回日本臨床腎移植学会, 2 月, Online
- 16) 提箸隆一郎, 齋藤 満, 浦山 健, 青山 有, 山本竜平, 藤山信弘, 小林瑞貴, 嘉島相輝, 奈良健平, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 羽瀨友則 (2022) 生体腎移植における BK ポリオーマウイルス関連腎症発症の危険因子の検証. 第 58 回日本移植学会総会, 10 月, 名古屋
- 17) 提箸隆一郎, 沼倉一幸, 小林瑞貴, 奈良健平, 齋藤 満, 成田伸太郎, 羽瀨友則 (2022) 原発性アルドステロン症と副腎コルチゾール産

- 生腺腫合併例に対する腹腔鏡下副腎摘除術の治療成績の検討. 第35回日本内視鏡外科学会総会, 12月, 名古屋
- 18) 蘇武竜太, 嘉島相輝, 小林瑞貴, 山本竜平, 奈良健平, 沼倉一幸, 齋藤 満, 成田伸太郎, 羽瀨友則 (2022) Exploration of predictive markers for the efficacy of immune checkpoint inhibitors in metastatic renal cell carcinoma. 第51回日本免疫学会総会, 12月, 熊本
- 19) Sobu, R., Kashima, S., Fujiyama, N., Kobayashi, M., Yamamoto, R., Nara, T., Numakura, K., Saito, M., Inoue, T., Narita, S. and Habuchi, T. (2022) Exploration of predictive markers for the efficacy of immune checkpoint inhibitors in metastatic renal cell carcinoma. 第51回日本免疫学会学術総会, 2月, 熊本
- 20) 蘇武竜太, 沼倉一幸, 小林瑞貴, 嘉島相輝, 山本竜平, 奈良建平, 齋藤 満, 成田伸太郎, 羽瀨友則 (2022) 当院における RARP 後鼠径ヘルニアの発症に関する検討. 第35回日本内視鏡外科学会総会, 12月, 名古屋
- 21) 高橋修平, 成田伸太郎, 藤山信弘, 畠山真吾, 小林 恭, 加藤廉平, 内藤 整, 酒谷 徹, 嘉島相輝, 小泉 淳, 山本竜平, 奈良健平, 神田壮平, 沼倉一幸, 齋藤 満, 小原 航, 土谷順彦, 大山 力, 小川 修, 羽瀨友則 (2022) 進行性尿路上皮癌に対するペンプロリズムマブの治療効果と germline HLA status の関連検討. 第31回泌尿器科分子・細胞研究会, 2月, 東京
- 22) 成田伸太郎, 寺田直樹, 野村恭子, 北村 寛, 羽瀨友則 (2022) 内分泌単独療法で開始した転移性前立腺癌のアウトカムと年齢の関連検討. 第7回日本がんサポーターブケア学会学術集会, 6月, 下関市
- 23) Narita, S., Terada, N., Nomura, K., Sakamoto, S., Hatakeyama, S., Kato, T., Matsui, Y., Junichi, I., Yokomizo, A., Tabata, K., Shiota, M., Kimura, T., Kojima, T., Inoue, T., Mizowaki, T., Sugimoto, M., Kitamura, H., Kamoto, T., Nishiyama, H. and Habuchi, T. (2022) Cancer-specific and net overall survival in older patients with de novo metastatic prostate cancer initially treated with androgen deprivation therapy. 第60回日本癌治療学会学術集会, 10月, 神戸
- 24) 成田伸太郎, 山本竜平, 奈良健平, 沼倉一幸, 齋藤 満, 羽瀨友則 (2022) 尿管狭窄のない RARC のために (シンポジウム). 第36回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会, 11月, 神戸
- 25) 沼倉一幸, 小林瑞貴, 嘉島相輝, 山本竜平, 小泉 淳, 奈良健平, 齋藤 満, 成田伸太郎, 羽瀨友則 (2022) ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘および体腔内回腸新膀胱・回腸導管作成のコツと成績 (シンポジウム). 第47回日本外科系連合学会学術集会, 6月, 盛岡
- 26) 沼倉一幸, 小林瑞貴, 嘉島相輝, 山本竜平, 小泉 淳, 奈良健平, 齋藤 満, 成田伸太郎, 羽瀨友則 (2022) BRAF V600E 変異は副腎腫瘍からのコルチゾール産生を亢進する (シンポジウム). 第34回日本内分泌外科学会総会, 6月, 松本
- 27) 沼倉一幸, 小林瑞貴, 武藤弓奈, 蘇武竜太, 熊谷 聡, 和田優貴, 羽瀨友則 (2022) 前立腺がんにおける Space OAR の有用性～小線源そして外照射の観点から～ (ランチョンセミナー). 小線源治療部会第24回学術大会, 5月, 東京
- 28) 沼倉一幸, 畠山真吾, 関根悠哉, 武藤弓奈, 小林瑞貴, 嘉島相輝, 山本竜平, 奈良健平, 齋藤 満, 成田伸太郎, 大山 力, 羽瀨友則 (2022) 転移性腎細胞癌患者におけるニボルマブ+イピリムマブ療法と免疫関連有害事象との関連. 第60回日本癌治療学会学術集会, 10月, 神戸
- 29) 藤山信弘 (2022) 腎移植におけるオンコネフロロジー (シンポジウム). 第8回日本医薬品安全性学会, 3月, 仙台
- 30) 藤山信弘 (2022) 腎移植後悪性腫瘍の特徴 (シンポジウム). 第22回日本臨床腫瘍薬学会, 3月, 仙台
- 31) 藤山信弘, 齋藤 満, 山本竜平, 提箸隆一郎, 齋藤拓郎, 青山 有, 沼倉一幸, 羽瀨友則 (2022) 長期フォロー腎移植患者 CNI 血中濃度による de novo DSA 発生への影響. 第16回日本腎臓病薬物療法学会, 10月, 長崎
- 32) 藤山信弘, 齋藤 満, 山本竜平, 提箸隆一郎, 齋藤拓郎, 青山 有, 沼倉一幸, 羽瀨友則, 佐藤 滋 (2022) 腎移植後長期フォロー中の de novo DSA 発生と CNI トラフ値の関連. 第

- 55 回日本臨床腎移植学会, 2 月, 東京
- 33) 山本竜平, 齋藤 満, 提箸隆一郎, 齋藤拓郎, 嘉島相輝, 小泉 淳, 奈良健平, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 佐藤 滋, 羽瀧友則 (2022) 秋田大学における腎移植後貧血に対する HIF-PH 阻害薬の初期使用経験. 第 58 回日本移植学会総会, 10 月, 名古屋
- 34) 山本竜平, 齋藤 満, 藤山信弘, 齋藤拓郎, 提箸隆一郎, 嘉島相輝, 小泉 淳, 奈良健平, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 佐藤 滋, 羽瀧友則 (2022) 術前レシピエント肥満が腎移植後のアウトカムに与える影響. 第 55 回日本臨床腎移植学会, 2 月, 東京
- (b) 地方会
- 1) 青山 有, 齋藤 満, 提箸隆一郎, 藤山信弘, 山本竜平, 嘉島相輝, 奈良健平, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 羽瀧友則 (2022) 秋田大学における腎移植後貧血に対する Hypoxia Inducible Factor - Prolyl Hydroxylase (HIF-PH) 阻害薬の使用経験. 第 87 回日本泌尿器科学会東部総会, 10 月, 軽井沢
- 2) 天野賢士, 嘉島相輝, 小泉 淳, 南條 博, 赤井太郎, 明円真吾, 安達尚宣, 川村貞文, 山本竜平, 沼倉一幸, 齋藤 満, 成田伸太郎, 安田 純, 荒井陽一, 羽瀧友則 (2022) 難治性精索間質性腫瘍の 1 例. 第 264 回日本泌尿器科学会東北地方会, 4 月, Online
- 3) 菊池茜恵, 山本竜平, 奈良健平, 成田伸太郎, 沼倉一幸, 齋藤 満, 羽瀧友則 (2022) 秋田大学泌尿器科で治療を行った IgG4 関連疾患の検討. 第 87 回日本泌尿器科学会東部総会, 10 月, 軽井沢
- 4) 佐々木禎, 奈良健平, 小泉 淳, 石田雅宣, 青山 有, 梶原知佳, 嘉島相輝, 山本竜平, 沼倉一幸, 齋藤 満, 成田伸太郎, 羽瀧友則 (2022) 診断に難渋した IVC 浸潤を伴う腫瘍マーカー陰性 non-seminomatous germ cell tumor の 1 例. 第 264 回日本泌尿器科学会東北地方会, 4 月, Online
- 5) 高橋佳子, 成田伸太郎, 塩田真己, 小林瑞貴, 嘉島相輝, 山本竜平, 奈良健平, 沼倉一幸, 齋藤 満, 三浦昌朋, 江藤正俊, 羽瀧友則 (2022) 前立腺癌におけるアビラテロンおよび D4A 血中濃度の関連検討. 第 87 回日本泌尿器科学会東部総会, 10 月, 軽井沢
- 6) 成田伸太郎, 齋藤 満, 羽瀧友則 (2022) 上部尿路上皮癌に対するロボット支援腹腔鏡下腎尿管全摘除術. 第 33 回内視鏡外科フォーラム in 仙台, 5 月, 仙台/Web
- 7) 成田伸太郎, 沼倉一幸, 齋藤 満, 羽瀧友則 (2022) RARC/ICUD の術式の標準化 (シンポジウム). 第 87 回日本泌尿器科学会東部総会, 10 月, 軽井沢
- 8) 沼倉一幸, 小林瑞貴, 齋藤 満, 成田伸太郎, 羽瀧友則 (2022) 進行性腎癌に対する腹腔鏡手術 (シンポジウム). 第 87 回日本泌尿器科学会東部総会, 10 月, 軽井沢
- 9) 沼倉一幸, 齋藤 満, 成田伸太郎, 羽瀧友則 (2022) 完全埋没型腫瘍に対する適応と限界 (パネルディスカッション). 第 87 回日本泌尿器科学会東部総会, 10 月, 軽井沢
- 10) 船越佑大, 嘉島相輝, 関根悠哉, 小林瑞貴, 山本竜平, 奈良健平, 沼倉一幸, 齋藤 満, 成田伸太郎, 南條 博, 羽瀧友則 (2022) 代用膀胱造設術後 23 年で生じた代用膀胱内小腸癌の 1 例. 第 265 回日本泌尿器科学会東北地方会, 10 月, 福島
- 11) 吉田昇修, 山本竜平, 小林瑞貴, 嘉島相輝, 奈良健平, 沼倉一幸, 齋藤 満, 成田伸太郎, 羽瀧友則 (2022) 診断に苦慮した後腹膜腫瘍の 1 例. 第 265 回日本泌尿器科学会東北地方会, 10 月, 福島
- 12) 藤山信弘 (2022) プロトコルの見かたと抑えるべきポイント. 第 5 回みちのく CRC 研修会, 2 月, Online
- 13) 藤山信弘 (2022) リモートモニタリングの現状調査. 第 5 回国立大学病院臨床研究推進会議トピックグループ 2 (TG2) 北海道・東北地区共同講演会, 2 月, Online
- 14) 森 瑞稀, 米田真也, 樋口知見, 喜早祐介, 忠地一輝, 下田次郎, 齋藤 満, 佐藤 滋 (2022) ペムプロリズマブが奏功した腎移植後転移性尿路上皮癌の 1 例. 第 264 回日本泌尿器科学会東北地方会, 4 月, Online
- (c) 研究会
- (i) 全国規模
- 1) 嘉島相輝, 河野有香, 増田喬子, 井上高光, 武田将司, 小林 恭, 沼倉一幸, 齋藤 満, 成田伸太郎, 小川 修, 羽瀧友則, 河本 宏 (2022) iPS 細胞技術を用いた泌尿器癌に対

(250)

中央診療施設等 腎疾患先端医療センター

- する抗原特異的 T 細胞療法の開発. Basic Urology Research Seminar, 1 月, Online
- 2) 菊池茜恵, 沼倉一幸, 三宅牧人, 小林瑞貴, 武藤弓奈, 関根悠哉, 田岡利宜也, 小林 恭, 小島崇宏, 北村 寛, 西山博之, 藤本清秀, 羽瀧友則 (2022) 筋層非浸潤性膀胱癌に対する BCG 膀胱内注入療法後の上部尿路腫瘍の検討. 第 15 回 BCG 注入療法研究会, 12 月, Online
- 3) 小林瑞貴, 沼倉一幸, 嘉島相輝, 山本竜平, 小泉 淳, 奈良健平, 齋藤 満, 成田伸太郎, 羽瀧友則 (2022) 秋田大学におけるロボット支援膀胱全摘における完全腹腔内尿路再建の方法と成績. 第 39 回泌尿器科手術研究会, 1 月, 和歌山
- 4) 齋藤 満 (2022) 腎移植における尿路再建術の基本手技—尿路合併症とその対策— (教育プログラム 2 「手術手技の伝承—基礎からトラブルシューティングまで—」). 第 37 回腎移植・血管外科研究会, 6 月, 桑名市
- 5) 提箸隆一郎, 齋藤 満, 青山 有, 小林瑞貴, 嘉島相輝, 山本竜平, 奈良健平, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 羽瀧友則 (2022) 自己血管内シヤントにおける上腕尺側皮静脈表在化の経験. 第 37 回腎移植・血管外科研究会, 6 月, 桑名市
- 6) 蘇武竜太, 沼倉一幸, 畠山真吾, 関根悠哉, 武藤弓奈, 小林瑞貴, 嘉島相輝, 山本竜平, 小泉 淳, 奈良健平, 齋藤 満, 成田伸太郎, 大山 力, 羽瀧友則 (2022) 転移性腎細胞癌に対するニボルマブ+イピリムマブ併用療法の irAE と治療効果の関連についての検討. 第 52 回腎癌研究会, 7 月, 福岡
- 7) 高橋佳子, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 青山 有, 蘇武竜太, 武藤弓奈, 佐藤博美, 小林瑞貴, 山本竜平, 奈良健平, 齋藤 満, 熊谷 聡, 和田優貴, 石山公一, 森奈緒子, 羽瀧友則 (2022) 限局性前立腺癌に対する放射線治療～当科の現況と有害事象対策～. 前立腺がん検診研究会, 12 月, 秋田市
- 8) 成田伸太郎, 小林瑞貴, 嘉島相輝, 山本竜平, 奈良健平, 沼倉一幸, 齋藤 満, 鈴木義久, 羽瀧友則 (2022) 前立腺全摘除術における神経損傷後の勃起回復を目指したポリグリコール酸シート包埋アルギン酸シートの探索治療の紹介. 第 19 回泌尿器科再生再建研究会, 6 月, 秋田市
- 9) 羽瀧友則 (2022) 本邦における mCSPC の最適な治療戦略を考える. Meet The Expert 2022, 1 月, 東京
- 10) 羽瀧友則 (2022) 局所進行尿路上皮癌治療のこれまでと課題 (オープニングリマークス). 尿路上皮癌術後補助療法全国講演会 in 東京, 6 月, 東京
- 11) 山本竜平, 齋藤 満, 藤山信弘, 青山 有, 提箸隆一郎, 齋藤拓郎, 奈良健平, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 佐藤 滋, 羽瀧友則 (2022) 秋田大学医学部附属病院における腎移植後尿路合併症の検討. 第 37 回腎移植・血管外科研究会, 6 月, 三重
- (ii) 地方規模
- 1) 齋藤 満 (2022) 腎移植前の Hb 管理の重要性—腎移植のアウトカム向上を目指して—. 腎移植のための腎性貧血治療セミナー, 1 月, Online
- 2) 齋藤 満 (2022) 災害時の透析コーディネーターについて. 令和 3 年度秋田県災害医療コーディネーター研修会, 3 月, Online
- 3) 齋藤 満 (2022) 保存期腎不全・維持透析患者における ESA 抵抗性症例の頻度. エナロイ[®]錠発売 1 周年記念 Web 講演会 in 秋田, 4 月, 秋田
- 4) 齋藤 満 (2022) 秋田大学における mTOR 阻害薬の立ち位置: いかに使い倒すか. 第 9 回 Meeting for Optimized Kidney Transplantation—腎移植最適化研究会—, 7 月, Online
- 5) 齋藤 満 (2022) Sustainable な腎移植療法を目指して—秋田大学での様々な取り組み—. 第 6 回いわて腎移植推進研究会, 8 月, 盛岡
- 6) 齋藤 満 (2022) 腎移植前後の貧血管理の意義—アウトカム向上のために—. TORII Anemia Update Seminar, 11 月, 滝川
- 7) 齋藤 満 (2022) 腎臓を守るために必要なこと—透析に至らない様に—. 第 46 回腎臓病を考える集い, 12 月, 秋田
- 8) 提箸隆一郎, 齋藤 満, 青山 有, 小林瑞貴, 嘉島相輝, 山本竜平, 奈良健平, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 羽瀧友則 (2022) 上腕シヤント表在化の 4 例. 第 48 回東北腎不全研究会, 8 月, 山形

- 9) 提箸隆一郎, 齋藤 満, 吉田昇修, 菊池茜恵, 山本竜平, 小林瑞貴, 嘉島相輝, 奈良健平, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 羽瀧友則 (2022) 本邦最高齢の献腎移植症例の経験. 第 26 回秋田腎不全研究会, 12 月, 秋田市
 - 10) 奈良健平, 関根悠哉, 小林瑞貴, 山本竜平, 沼倉一幸, 齋藤 満, 成田伸太郎, 羽瀧友則 (2022) 限局性前立腺癌に対する手術治療, 当科の現状と合併症対策. 令和 4 年度前立腺がん検診研究会, 12 月, 秋田
 - 11) 羽瀧友則 (2022) 多発尿路腫瘍の基礎研究からロボット支援膀胱全摘まで (特別講演). 第 21 回 KMU 泌尿器科セミナー, 1 月, 高松
 - 12) 羽瀧友則 (2022) 多発尿路腫瘍の研究からロボット支援膀胱全摘まで. 第 32 回高槻市医師会泌尿器科専門部会講演会, 3 月, 高槻市
 - 13) 羽瀧友則 (2022) 進行前立腺癌の集学的治療を考える. 七隈ウロロジーフォーラム, 3 月, 福岡
 - 14) 羽瀧友則 (2022) 転移性前立腺癌の治療戦略 — Update —. Osaka Metropolitan University prostate cancer seminar, 4 月, 大阪市
 - 15) 羽瀧友則 (2022) 多発尿路腫瘍の研究からロボット支援膀胱全摘除まで～先人から学ぶ～ (基調講演). 第 5 回湘南泌尿器がん研究会, 5 月, 神奈川
 - 16) 羽瀧友則 (2022) 転移性前立腺癌の治療戦略 — Update —. Meet The Expert 2022 in Nara, 5 月, 奈良市
 - 17) 羽瀧友則 (2022) 局所進行尿路上皮癌治療のこれまでと課題 (オープニングリマークス). 尿路上皮癌術後補助療法全国講演会 in 東京, 6 月, 東京
 - 18) 羽瀧友則 (2022) ロボット支援の腎摘除・尿管全摘除の基本. 腎摘ロボット手術 Web Seminar, 11 月, Online
 - 19) 羽瀧友則 (2022) 転移性尿路上皮癌治療のこれまでと課題. 宮崎県泌尿器科医会, 12 月, 宮崎市
 - 20) 藤山信弘 (2022) オレンジレジストリ認知症予防活動付随研究では何をするんですか? オレンジレジストリ進捗報告会 2022, 10 月, 横手市
 - 21) 降幡研吾, 齋藤 満, 青山 有, 高橋佳子, 関根悠哉, 提箸隆一郎, 小林瑞貴, 嘉島相輝, 山本竜平, 奈良健平, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 羽瀧友則 (2022) プロテイン性低下を伴う免疫学的ハイリスク症例に対し生体腎移植を施行した 1 例. 第 26 回秋田腎不全研究会, 12 月, 秋田市
 - 22) 山本竜平, 齋藤 満, 藤山信弘, 青山 有, 提箸隆一郎, 小林瑞貴, 奈良健平, 沼倉一幸, 成田伸太郎, 佐藤 滋, 羽瀧友則 (2022) 高齢ドナーとレシピエントの手術適応. 第 48 回東北腎不全研究会, 8 月, 山形
- そ の 他
- 1) 嘉島相輝, 蘇武竜太, 羽瀧友則 (2022) 新規癌患者由来マウスモデルを用いた免疫チェックポイント阻害薬作用機構の網羅的解明と治療効果予測バイオマーカーの開発. 秋田大学「研究科長による先端研究助成」研究成果発表会, 1 月, 秋田
 - 2) 羽瀧友則 (2022) 学会好事: コロナに打ち勝った (?). 第 19 回泌尿器科再建再生研究会開催記. *Urology Today*, **29**, 46-47.
 - 3) 羽瀧友則 (2022) 巻頭言: 回復度の違い. 秋田腎不全研究会誌 **25**, 1.
 - 4) 羽瀧友則 (2022) これからの秋田大学医学部 —医学部長就任挨拶—. 本道 **34**, 1-4.
 - 5) 羽瀧友則 (2022) 新入生の皆さま, おめでとうございます. 秋田大学医学部医学科 後援会だより **52**, 3-4.
 - 6) 羽瀧友則 (2022) 「特集 2. 内分泌臓器・腫瘍に対するロボット支援手術の国内外の現状と展望」によせて. 日本内分泌外科学会雑誌 **39**, 28.

Akita J Med 50 (Suppl) : 253, 2023

中央診療施設等

医療安全管理部

部長・准教授	木	村	哲
副部長	笹	渕	航平・小林育子
担当者	松	渕	さおり
事務系スタッフ	松	村	理恵子

学会発表

B. 国内会議

(b) 地方会

- 1) 木村 哲 (2022) 筋膜リリース注射における超小型(指サック型)エコープローブの必要性. 日本ペインクリニック学会第2回東北支部学術集会, 2月, 秋田, Online
- 2) 山本夏子, 中島麻衣子, 合谷木徹, 木村 哲, 新山幸俊 (2022) 三叉神経痛の加療中に意識障害と不随意運動を発症した一例. 日本ペインクリニック学会第2回東北支部学術集会, 2月, 秋田
- 3) 山本夏子, 中島麻衣子, 合谷木徹, 木村 哲, 新山幸俊 (2022) 難治性慢性鼠径部痛がトリガーポイント注射と閉鎖神経ブロックにより軽快した一例. 日本ペインクリニック学会第2回東北支部学術集会, 2月, 秋田

報告書

- 1) 木村 哲 (2022) 厚生労働省 令和4年度慢性疼痛診療システム普及・人材育成モデル事業 慢性の痛みの理解と診療体制の構築に向けて【東北ブロック】報告書

その他

- 1) 木村 哲 (2022) 慢性疼痛診療における多職種連携. 第7回しらかみ疼痛セミナー, 2月, 秋田
- 2) 木村 哲 (2022) 秋田県のペインクリニックの現状と課題. Point of care seminar, 3月, 秋田
- 3) 木村 哲 (2022) 診断・治療に苦慮する口腔顔面痛. 外来診療で遭遇する痛みについて考える会, 12月, 秋田

Akita J Med 50 (Suppl) : 255~256, 2023

中央診療施設等

感 染 制 御 部

部長・准教授	嵯 峨 知 生 (～3月)
部長・病院教授	嵯 峨 知 生 (4月～)
副 部 長	中 村 美 央 (看護部) (～3月)
副 看 護 師 長	石 川 陽 子 (～3月)
副部長・看護師長	石 川 陽 子 (4月～)
医 員	長 谷 川 諒 (総合診療・検査診断学講座医員) (4月～)
看 護 師	佐 藤 智 子・佐 藤 成 美
薬剤師(AST専従)	塚 田 愛 (1月～)
事務系補佐員	芳 川 恵 (～3月)
	佐 々 木 幸 枝 (4月～)

著 書

- 1) 長谷川諒, 森 信好 (2022) 2. 免疫不全患者の感染症対策 (第IV章 血液疾患患者の診察上の注意点). 神田善伸 (編) ここが知りたい! 血液疾患診療ハンドブック. 中外医学社, 東京, pp. 114-121.

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Hikichi, H., Hasegawa, R., Saga, A., Saga, T. and Ueki, S. (2022) Diagnostic challenges in pulmonary embolism in young adults: thrombosis associated with cytomegalovirus and *Mycoplasma pneumoniae*. *Cureus*, **14**(12), e32757.

B. 審査を経ない論文

- 1) 大谷真紀, 松尾悠平, 鈴木昇建, 石川陽子, 佐藤智子, 嵯峨知生, 美作宗太郎 (2022) 法医解剖における感染対策強化の試み—新型コロナウイルス感染症対策を契機とした標準予防策実践内容の見直し—. *法医学の実際と研究* **65**, 233-242.

学 会 発 表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

- 1) 嵯峨知生 (2022) セファロsporin産生菌—基礎から新発見まで— (シンポジウム 1. β -ラクタマーゼ産生菌の基礎から新発見まで). 第33回日本臨床微生物学会総会・学術集会, 1月, 仙台市
- 2) 嵯峨知生 (2022) 薬剤耐性菌の遺伝子解析から分かること (委員会企画 9 多剤耐性菌制御委員会 薬剤耐性菌感染対策の効果的な実践と新しい技術の活用). 第37回日本環境感染学会総会・学術集会, 6月, 横浜市

(b) 地方会

- 1) 嵯峨知生 (2022) 秋田県の新型コロナウイルス感染症の軽症者宿泊療養施設への抗体カクテル療法導入の効果 (会長特別企画). 第114回日本呼吸器学会東北地方会・第144回日本結核・非結核性抗酸菌症学会東北支部学会・第16回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会東北支部会, 3月, Online
- 2) 嵯峨知生 (2022) 新型コロナウイルスと多剤

(256)

中央診療施設等 感染制御部

耐性菌の関わり（日本環境感染学会共催シンポジウム：教訓を糧に実践した多剤耐性菌感染への関わり）. 第71回日本感染症学会東日本地方会学術集会・第69回日本化学療法学会東日本支部総会合同学会, 10月, 札幌市

(c) 研究会**(ii) 地方規模**

- 1) 嵯峨知生 (2022) 秋田大学での取り組み（施設報告：真菌感染症）. 東北 web ICD アカデミー 2022 春, 3月, Online
- 2) 嵯峨知生 (2022) 感染症から学生を守る—秋田大学の取り組み—（教育講演 I）. 第59回全国大学保健管理研究集会東北地方研究集会, 7月, Online
- 3) 嵯峨知生 (2022) 秋田大学での取り組み（施設報告：肺炎治療における抗菌薬処方について～注射剤を中心に～）. 東北 web ICD アカデミー 2022, 9月, Online
- 4) 嵯峨知生 (2022) ポストコロナを見据えた臨床微生物ゲノム解析—分子疫学を感染制御に活かすために—（講演：アフターコロナの感染症遺伝子検査）. 令和4年度秋田県臨床検査技師会第1回臨床微生物部門研修会, 9月, Online
- 5) 嵯峨知生 (2022) 新型コロナウイルス感染症第7波までを振り返る（特別講演）. 第18回秋田県公衆衛生学会学術大会, 11月, 秋田市
- 6) 嵯峨知生 (2022) 秋田感染症コアセンターの立場から（基調講演：感染対策における地域連携の推進）. 第79回秋田県感染対策協議会研修会, 11月, 秋田市
- 7) 嵯峨知生 (2022) 臨床微生物検査における

NGSの活用と今後の方向性（教育講演）. 第47回SCANIC, 11月収録, Online

そ の 他

【講演】

- 1) 嵯峨知生 (2022) 秋田の新型コロナ対応—秋田大学から—. 秋田県健康づくり審議会 感染症対策分科会新興感染症部会, 1月, Online
- 2) 嵯峨知生 (2022) 新規に導入された次世代塩基配列解析支援システムユーザーコメント（ユーザーコメント：バイオサイエンス教育・研究サポートセンターのご紹介～秋田大学で出来ること～）. 秋田大学医学部第1回研究サポートセミナー（医学系研究科研究FD）

【メディア出演】

- 1) 嵯峨知生 (2022) 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためには①. あきたメディカル通信, 10月, 秋田テレビ (10/1 放送)
- 2) 嵯峨知生 (2022) 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためには②. あきたメディカル通信, 10月, 秋田テレビ (10/8 放送)
- 3) 嵯峨知生 (2022) 新型コロナウイルス感染症の重症化を防ぐためには. あきたメディカル通信, 10月, 秋田テレビ (10/15 放送)
- 4) 嵯峨知生 (2022) 渡航外来～海外旅行前の体の備え～. あきたメディカル通信, 10月, 秋田テレビ (10/22 放送)
- 5) 嵯峨知生 (2022) 薬剤耐性菌と抗菌薬適正使用. あきたメディカル通信, 10月, 秋田テレビ (10/29 放送)

Akita J Med 50 (Suppl) : 257~259, 2023

中央診療施設等

薬 劑 部

講 師	赤 嶺	由 美 子			
副薬劑部長	佐々木	克 也・加賀谷	英 彰		
薬劑主任	加藤	正 太 郎・錠 屋	舞 子		
	白崎	聖 子・藤 田	一 馬		
	森澤	さ お り・笹 渕	航 平		
	近江谷	麻 由・横 田	隼 人		
薬 劑 師	平野	尚 子 (~3月)			
	田中	裕 子 (~11月)			
	松元	葵・尾 関	智 子		
	夏見	彩 乃・奈 良	佐 衣		
	畠山	春 海			
	大川	結 子 (~3月)			
	柳下	博 信・野 手	立 秋		
	阿部	史 葉・五 十 嵐			
	小貫	薰 花・熊 谷	茉 步		
	佐藤	風 薫・田 代	尚 之		
	宮腰	奏・池 内	麻 衣		
	小林	瑞 季・福 田	菜 月		
	福司	弥 生 (4月~)			
	鹿野	唯 (4月~)			

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Fujita, K., Motoyama, S., Sato, Y., Wakita, A., Nagaki, Y., Minamiya, Y. and Miura, M. (2022) Association between ABCC2 polymorphism and hematological toxicity in patients with esophageal cancer receiving platinum plus 5-fluorouracil therapy. *Esophagus.*, **19**, 146-152.
- 2) Fukuda, N., Akamine, Y., Abumiya, M., Takahashi, S., Yoshioka, T., Kameoka, Y., Takahashi, N. and Miura, M. (2022) Relationship between achievement of major molecular response or deep molecular response and nilotinib plasma concentration in patients with chronic myeloid leukemia receiving first-line nilotinib therapy. *Cancer Chemother. Pharmacol.*, **89**, 609-616.
- 3) Fukuda, N., Kobayashi, T., Sato, H., Akamine, Y., Takahashi, N. and Miura, M. (2022) Quantitation of venetoclax in human plasma by high-performance liquid chromatography with ultraviolet detection. *J. Chromatogr. Sci.*, bmac080.
- 4) Kumagai, M., Nagahama, M., Akamine, Y., Ozeki T., Suzuki, A., Sugino, K., Ito, K. and Miura, M.

- (2022) Associations between plasma concentrations of lenvatinib and angiopoietin and clinical responses to lenvatinib therapy in Japanese patients with thyroid cancer. *Cancer Diagn. Progn.*, **2**, 336-344.
- 5) Motoyama, S., Hosaka, M., Kamei, T., Ueno, M., Watanabe, M., Ohkura, Y., Mine, S., Tanabe, S., Toyokawa, T., Wakita, A., Nishikawa, K., Ninomiya, I., Fujita, K., Kanda, M., Hirai, M., Hoshi, M., Chiu, S.W., Takata, M., Yamaguchi, T. and Miura, M. (2022) A Multi-institutional Study to Diagnose the Risk of Lymph Node Metastasis Using a CRP Genetic Polymorphism Test Kit in pT1, cN0 Thoracic Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Anticancer Res.*, **42**, 6105-6112.
- 6) Yagishita, H., Kagaya, H., Saito, M., Numakura, K., Yamamoto, R., Sagehashi, R., Habuchi, T., Satoh, S. and Miura, M. (2022) Effects of *NR1I2* and *ABCB1* Genetic Polymorphisms on Everolimus Pharmacokinetics in Japanese Renal Transplant Patients. *Int. J. Mol. Sci.*, **23**, 11742.
- 7) Yokota, H., Sato, K., Sakamoto, S., Okuda, Y., Fukuda, N., Asano, M., Takeda, M., Nakayama, K. and Miura, M. (2022) Effects of CYP3A4/5 and ABC transporter polymorphisms on osimertinib plasma concentrations in Japanese patients with non-small cell lung cancer. *Invest. New Drugs*, **40**, 1254-1262.
- 4) 鑑屋舞子 (2022) 慢性骨髄性白血病治療薬の TDM(シンポジスト). 第 38 回日本 TDM 学会・学術大会, 5 月, 茨城
- 5) 井草龍太郎, 福原達朗, 今井一博, 中川 拓, 横田隼人, 渡邊香奈, 鈴木 綾, 盛田麻美, 井上 彰, 三浦昌朋, 南谷佳弘, 前門戸任 (2022) 血漿濃度を用いたオシメルチニブ治療の多施設前向き観察研究. 第 62 回日本呼吸器学会学術講演会, 4 月, 京都
- 6) 藤田一馬, 本山 悟, 佐藤雄亮, 脇田晃行, 南谷佳弘, 三浦昌朋 (2022) 食道がん患者に対する術前化学放射線療法後の治療成績に及ぼす銅トランスポーター遺伝子多型の影響. 第 32 回日本医療薬学会年会, 9 月, 群馬
- 7) 藤田一馬, 本山 悟, 佐藤雄亮, 脇田晃行, 南谷佳弘, 三浦昌朋 (2022) 食道がん患者における白金製剤+5-FU 療法誘発血液毒性に及ぼす関連遺伝子多型の影響. 第 60 回日本癌治療学会学術集会, 10 月, 神戸
- 8) 横田隼人, 佐藤一洋, 坂本 祥, 奥田佑道, 浅野真理子, 竹田正秀, 中山勝敏, 三浦昌朋 (2022) 非小細胞肺癌におけるアファチニブ血中濃度と副作用である下痢との関係. 第 32 回日本医療薬学会年会, 9 月, 群馬

(b) 地方会

- 1) 福田菜月, 赤嶺由美子, 皆川英伸, 高橋隼人, 眞野成康, 三浦昌朋 (2022) 卒後臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業参加における研修成果. 東北ブロック第 11 回学術大会, 6 月, 山形

(c) 研究会

(i) 地方規模

- 1) 赤嶺由美子 (2022) 血中濃度測定とクロザピンの安全な導入について. 第 9 回さいがたセミナー, 7 月, 新潟
- 2) 阿部史葉 (2022) 病棟薬剤師として感じた 3 つのこと—真菌性髄膜炎—. 令和 3 年度秋田県病院薬剤師会 薬剤業務研修会, 3 月, 秋田
- 3) 熊谷茉歩, 赤嶺由美子, 高橋絵梨子, 寺田かおり, 加賀谷英彰, 佐々木克也, 南谷佳弘 (2022) 乳癌患者における CDK4/6 阻害剤の副作用発現状況と予測因子の検討. 第 62 回秋田県臨床薬学研究会, 7 月, 秋田
- 4) 藤田一馬 (2022) 秋田大学医学部附属病院制

学 会 発 表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

- 1) 赤嶺由美子 (2022) 令和 3 年度卒後臨床研修の効果的な実施のための調査検討事業報告・モデル事業実施施設による研修報告①. 第 5 回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum, 7 月, online
- 2) 赤嶺由美子 (2022) 精神科領域における個別化薬物療法の開発 (受賞講演). 第 32 回日本医療薬学会年会, 9 月, 群馬
- 3) 赤嶺由美子 (2022) サイコオンコロジー領域での薬剤師の役割を考える. 脳転移誘発てんかんへの介入 (シンポジスト). 第 32 回日本医療薬学会年会, 9 月, 群馬

吐薬使用ガイドラインの活用から応用まで。
秋田県がん薬薬連携セミナー，10月，秋田

- 5) 横田隼人 (2022) 薬剤師の視点をいかした薬学的介入 (シンポジスト)。第47回卒後研修会，8月，秋田

義と臨床応用。血中濃度測定にまつわる疑問点。臨床精神薬理 **25**, 83-88.

- 2) 赤嶺由美子 (2022) 病院薬剤師になったら学ぶこと 入院患者マネジメントの1冊目。病棟で患者の様子が…薬はどうする？ 不眠。薬事 **64**, 2942-2947.

そ の 他

- 1) 赤嶺由美子 (2022) 血中濃度測定の臨床的意

Akita J Med 50 (Suppl) : 261~262, 2023

中央診療施設等

漢 方 外 来

外 来 長 中 永 士 師 明 (救急・集中治療医学講座 教授)
 副 外 来 長 飯 川 延 子・入 江 康 仁
 非 常 勤 講 師 田 中 秀 則 (御野場たなかレディースクリニック 院長)

著 書

- 1) 入江康仁, 中永士師明 (2022) 創傷, 急性疾患に即効! 加島雅之 (編) 救急/急性期・病棟での漢方製剤の使い方. じほう, 東京, 月間薬事 **64**(3), pp. 483-485.
- 2) 入江康仁, 中永士師明 (2022) よく使う漢方製剤 治打撲一方, 急性疾患に即効! 加島雅之 (編) 救急/急性期・病棟での漢方製剤の使い方. じほう, 東京, 月間薬事 **64**(3), pp. 532-534.
- 3) 中永士師明 (2022) コロナ後遺症に鍼の一刺しを. 高尾昌樹 (編) フローチャートコロナ後遺症漢方薬. 新興医学出版社, 東京, pp. 36-37.

総 説・解 説

- 1) Nakae, H., Irie, Y., Kitamura, T. and Okuyama, M. (2022) Application of traditional Japanese drug jidabokuippo in a modern society. *Front. Pharmacol.*, **13**, 853012.
- 2) 入江康仁, 中永士師明 (2022) 外傷性窒息の諸症状に対して治打撲一方は活用できる. 漢方と最新治療 **31**, 221-224.
- 3) 中永士師明, 入江康仁 (2022) 様々な外傷に活用できる治打撲一方. 漢方と最新治療 **31**, 151-155.

原 著

- 1) Irie, Y., Nakae, H., Saga, A., Hikichi, H., Watanabe, K., Satoh, K., Kitamura, T. and Ueki, S. (2022) A case of the efficacy of Kampo medicine for relatively prolonged side effects following coronavirus disease 2019 vaccine. *J. Hosp. Gen. Med.*, **4**, 148-152.
- 2) Kameyama, K., Nakae, H. and Irie, Y. (2022) A case of adverse skin reactions to coronavirus disease 2019 vaccine successfully treated with eppikajutsuto. *Pers. Med. Universe*, **11**, 20-22.
- 3) Kitamura, T., Nakae, H., Irie, Y., Satoh, K., Hirasawa, N., Kameyama, K., Suzuki, Y., Maeno, Y., Yoshida, K. and Okuyama, M. (2022) Safety of jidabokuippo administration based on adverse event rate. *Tradit. Kampo Med.*, **9**, 18-24.
- 4) Nakae, H., Kan'o, T., Irie, Y., Tokunaga, K., Kashima, M. and Liu, X.Z. (2022) Application of traditional medicine in emergency and critical care "1st International Symposium on Kampo Medicine". *Tradit. Kampo Med.*, **9**, 119-120.
- 5) Takayama, S., Namaiki, T., Arita, R., Ono, R., Kikuchi, A., Ohsawa, M., Saito, N., Suzuki, S., Nakae, H., Kobayashi, S., Yoshino, T., Ishigami, T., Tanaka, K., Nochioka, K., Takagi, A., Mimura, M., Yamaguchi, T., Ishii, T. and Ito, T. (2022) Multicenter, randomized controlled trial of traditional Japanese medicine, kakkonto with shosaikoto-kakikyosekko, for mild and moderate coronavirus disease patients. *Front. Pharmacol.*, **13**,

(262)

中央診療施設等 漢方外来

1008946.

- 6) Tanaka, H., Miura, H., Terada, Y. and Nakae, H. (2022) A case of coronavirus disease 2019 in a pregnant woman successfully treated with shoseiryuto: A telephone consultation. *Tradit. Kampo Med.*, **9**, 215-216.

学 会 発 表

A. 国際学会

- 1) Irie, Y. and Nakae, H. (2022) Two cases of community-acquired pneumonia with good clinical course treated with shosaikoto or saireito (Symposium). 1st International Symposium on Kampo Medicine, Aug., Online

B. 国内学会

(a) 総会・年会

- 1) 入江康仁, 高山 真, 並木隆雄, 伊藤 隆, 中永士師明 (2022) なぜ新興感染症に漢方薬が必須なのか?—救急医だからこそ漢方薬を使うサステナブルな理由. 第50回日本救急医学会総会・学術集会, 11月, 東京
- 2) 入江康仁, 中永士師明 (2022) 漢方エキスの補血作用に及ぼす鉄とリンの影響. 第72回日本東洋医学会学術集会, 5月, 札幌
- 3) 入江康仁, 中永士師明 (2022) 新型コロナウイルス感染症に対する漢方治療 (シンポジウム). 第72回日本東洋医学会学術集会, 5月, 札幌
- 4) 入江康仁, 中永士師明 (2022) 新型コロナウイルス感染症における漢方の応用 (シンポジウム). 第39回和漢薬学会学術集会, 8月, Online
- 5) 田中秀則, 島 仁, 中永士師明 (2022) 子宮頸部異形成へ対し, ヨクイニンが有効であっ

た一例. 第72回日本東洋医学会学術集会, 5月, 札幌

- 6) 中永士師明, 入江康仁, 北村俊晴, 奈良 佑, 亀山孔明, 平澤暢史, 佐藤佳澄, 奥山 学 (2022) 様々な外傷に応用できる治打撲一方の魅力 (パネルディスカッション). 第84回日本臨床外科学会総会, 11月, 福岡

(b) 地方会

- 1) 入江康仁, 中永士師明 (2022) オニオコゼ刺傷に柴苓湯と十味敗毒湯を用いた使用経験(基調講演). 第24日本東洋医学会東北支部秋田県部会総会, 11月, Online
- 2) 中永士師明 (2022) COVID-19と漢方(基調講演). 第24日本東洋医学会東北支部秋田県部会総会, 11月, Online

(c) 研究会・講演会

(i) 全国規模

- 1) 中永士師明 (2022) 救急・集中治療領域における漢方治療. 急性期漢方セミナー, 3月, 札幌
- 2) 中永士師明 (2022) 急性期医療に役立つ漢方薬 (lecture). Generalist KAMPO Seminar, 10月, Online
- 3) 中永士師明 (2022) 救急・集中治療領域における漢方治療. 千葉市立海浜病院 KAMPO セミナー, 10月, 千葉
- 4) 中永士師明 (2022) 急性期疾患における漢方の活用. 第7回東北漢方治療セミナー, 11月, 仙台

そ の 他

- 1) Nakae, H., Takayama, S. and Namiki, T. (2022) Potentials of Kampo medicine in modern society (Editorial). *Front Nutr.*, **9**, 912874.

Akita J Med 50 (Suppl) : 263~265, 2023

中央診療施設等

総合臨床教育研修センター

センター長	高橋直人	(血液・腎臓・膠原病内科学講座 教授)
副センター長	長谷川仁志	(医学教育学講座 教授)
	安藤秀明	(看護学講座 教授)
	守時由起	(総合診療・検査診断学講座 准教授)
	佐々木志のぶ	
講師	岡崎三枝子	
特任助教	福田翔・伊藤誠人	
	南慎一郎	(~9月)
	小林五十鈴	(9月~)
	渡邊健太	(12月~)
看護師長	立原恵里子	
臨床工学技士	福田浩和	
主査	佐藤大樹	
事務職員	斎藤晃子	
事務系スタッフ	池田麻衣	(~6月)
	三浦かおる	(~6月)
	加藤愛華・姉崎朋佳	
	佐々木優衣	(5月~)
	飯塚美恵子	(7月~)

原著論文

A. 審査を経た論文

- 1) Nowicki, M., Berg, B.W., Okada, Y., Yagi, M.S., Tomisawa, T., Kawahara, C., Ouchi, G., Moritoki, Y. and Otori, T. (2022) A Patient Safety Champion Program for Interprofessional Health Care Educators : Implementation and Outcomes. *J. Contin. Educ. Health Prof.*, **42** (3), 211-218.

学会発表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

- 1) 赤嶺陽子, 岡崎三枝子, 鈴木康之, 今福輪太郎, 西城卓也 (2022) 医学教育における無意識バイアス. 第54回日本医学教育学会大会, 8月, 群馬 (WS形式)
- 2) 新井浩和, 小泉ひろみ, 佐藤陽子, 小山田遵, 岡崎三枝子, 丹代 諭, 高橋郁夫 (2022) 秋田県における乳幼児の院外心停止症例の検討. 第125回日本小児科学会学術集会, 4月, 郡山

(264)

中央診療施設等 総合臨床教育研修センター

- 3) 長谷川仁志 (2022) 各専門診療科の診療参加型臨床実習をどう計画すべきか—日本の課題解決に向けて—2年間全体を意識した各専門診療科の診療参加型臨床実習のカリキュラムプランニングを推進しよう (シンポジウム). 第54回日本医学教育学会大会, 8月, 群馬
- 4) 長谷川仁志 (2022) 日本の将来を見据えた, これからの生涯教育の理想的な方向性を考える—特に生涯教育で強化必要な実践力とは—各現場の医師・医療者チームのためのテクニカルおよびノンテクニカルスキル教育力育成を生涯教育の中心に (シンポジウム). 第54回日本医学教育学会大会, 8月, 群馬

(b) 地方会

- 1) 岡崎三枝子 (2022) アンコンシャス・バイアスがもたらすキャリアへの影響. 第73回北日本小児科学会, 9月, 矢巾町
- 2) 仲本雄一, 山田俊介, 岡崎三枝子, 豊野学朋, 高橋 勉 (2022) Epoprostenol 導入により右心不全症状の改善を認めた, 特発性肺動脈性肺高血圧症の女児例. 第121回日本小児科学会秋田地方会, 12月, 秋田

(c) 研究会

(ii) 地方規模

- 1) 岡崎三枝子 (2022) 胎児診断, ときどき医学教育 (第111回). 遠隔テレビ会議, 秋田大学産婦人科学講座, 4月, Online
- 2) 田中郁信, 守時由起, 岡崎三枝子, 小林五十鈴, 福田浩和, 長谷川仁志, 高橋直人 (2022) CC1 に対する心臓血管外科学講座での心臓超音波実習について. 第20回東北シミュレーション医学医療教育研究会大会, 11月, 宮城
- 3) 長谷川仁志, 守時由起, 岡崎三枝子, 奥山 学, 福田浩和, 田中郁信, 小林五十鈴, 佐々木志のぶ, 立原恵里子, 菅広信, 猪股祥子, 大貫佑佳, 佐々木優衣, 加藤愛華, 植木重治, 高橋直人 (2022) デジタル教育手法をハイブリッドして広義のシミュレーション医学・医療教育/研修 (講義・演習・実習・評価) をより効果的に展開する. 第20回東北シミュレーション医学医療教育研究会大会, 11月, 宮城
- 4) 守時由起, 福田浩和, 加藤愛華, 岡崎三枝子, 田中郁信, 小林五十鈴, 長谷川仁志, 高橋直人, 植木重治 (2022) クリニカルクラークシップ1における基本的気道管理トレーニング. 第

20回東北シミュレーション医学医療教育研究会大会, 11月, 宮城

報 告 書

- 1) 長谷川仁志 (2022) 第7章 生涯教育 1. 地域医療・ネットワーク. 一般社団法人 全国医学部長病院長会議 我が国で求められる医師養成のためのグランドデザインへの提言—卒前・卒後のシームレスな医学教育を目指して—.
- 2) 長谷川仁志 (2022) 第7章 生涯教育 4. Continuing medical Education (CME)/ Continuing Professional Development. 一般社団法人 全国医学部長病院長会議 我が国で求められる医師養成のためのグランドデザインへの提言—卒前・卒後のシームレスな医学教育を目指して—.

そ の 他

- 1) 長谷川仁志 (2022) 患者力, チョイス @ 病気になるったとき「教えて! チョイスドクター患者力アップ講座」NHK (Eテレ)
- 2) 長谷川仁志 (2022) 恒久定員に地域枠定員を含めることの留意点. 全国医学部長病院長会議地域枠制度についての意見交換会
- 3) 長谷川仁志 (2022) カリキュラムオーバーロード時代のコンピテンス基盤型6年間一貫教育のエッセンス—1年次医療面接演習・OSCE から始まる統合教育とデジタル活用について—. 第40回国内医科大学視察と討論の会, 9月, 秋田
- 4) 長谷川仁志 (2022) 理想的なカリキュラム編成を考える. 医学書院「医学会新聞」, 10月
- 5) 長谷川仁志 (2022) 第13回本県の実情に沿って地域医療構想を実現するための医学教育の方向性. 国立大学医学部長会議地域医療構想を踏まえたこれからの医学教育, 10月
- 6) 長谷川仁志 (2022) 『新たな時代の医療連携に資する医師の生涯教育のあり方』を共有してポストコロナ時代の医師の学びを考える, 秋田医報, 11月
- 7) 長谷川仁志 (2022) ディレクター・タスクフォース挨拶. 日本医師会「第13回指導医のための教育ワークショップ」, 11月, 秋田

- 8) 長谷川仁志 (2022) 研修プログラムの立案：作業テーマの決定と研修目標の作成. 日本医師会「第13回指導医のための教育ワークショップ」, 11月, 秋田
- 9) 長谷川仁志 (2022) 研修方略の作成 基本的診療技能をどう変えるか. 日本医師会「第13回指導医のための教育ワークショップ」, 11月, 秋田
- 10) 長谷川仁志 (2022) 研修評価の実施計画の作成. 日本医師会「第13回指導医のための教育ワークショップ」, 11月, 秋田
- 11) 長谷川仁志 (2022) まとめ (これからの理想的指導医とは). 日本医師会「第13回指導医のための教育ワークショップ」, 11月, 秋田
- 12) 長谷川仁志 (2022) 秋田大学医学部医学科の教育・臨床・研究と学生生活. 医師・医学科に興味のある県内高校生のための秋田大学医学部医学科オンラインメディカル・セミナー, 11月, 秋田
- 13) 長谷川仁志 (2022) 総診医不足解消に向けた現実的な戦略とは? 日経メディカル, 12月, 秋田
- 14) 長谷川仁志 (2022) コンピテンス基盤型6年間一貫水平・垂直統合教育: 本学における現状と課題—すべては医療安全のために—. 鳥根大学FD, 12月, 鳥根
- 15) 長谷川仁志 (2022) 『デジタル教育・シミュレーション教育・対面講義/実習のハイブリッドカリキュラム』を考える—学生と教員へのカリキュラムオーバーロードを軽減して教育効果を向上するために—. 岩手医科大学第22回医学教育講演会, 岩手